取扱説明書

もくじ

もくじ **1**

本製品のマニュアルをお読みになる前に **4**

1章 パソコンの取り扱い **12**

1 各部の名称（外観図） **12**

1 前面図 12
2 背面図 14
3 裏面図 15
4 外形寸法 16

2 電源を入れる **17**

1 電源コードとACアダプターを接続する 17
2 電源を入れる 18

3 電源を切る／再起動／スリープ **20**

1 電源を切る 21
2 再起動 22
3 スリープ 22
4 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する 23

4 タッチパッド **25**

1 タッチパッドで操作する 25

5 タッチパネル **26**

1 画面にタッチして操作する 26

6 キーボード **28**

1 キーボードの文字キーの使いかた 28
2 FNキーを使った特殊機能キー 29
3 特殊機能キー 30

7 バッテリーについて **31**

1 バッテリー充電量を確認する 32
2 バッテリー充電モード 33

2章 パソコンを再セットアップするには 35

1 パソコンを初期状態に戻す前に 35

1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ 36
2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと 37

2 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー） 39

1 いくつかある初期状態に戻す方法 39
2 ハードディスク／SSDからパソコンを初期状態に戻す 40
3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す 42

3 Windowsセットアップが終了したあとは 44

3章 アプリケーション／ユーティリティ 45

4章 サポート関連のご案内 47

1 お問い合わせ先（OS／アプリケーション） 47

1 OSのお問い合わせ先 47
2 アプリケーションのお問い合わせ先 48

2 サービス＆サポートのご案内 50

3 デイリーケアとアフターケア 57

4 捨てるとき／人に譲るとき 64

付録 69

1 ご使用にあたってのお願い 69

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて 69
2 バッテリーの使用／充電について 69
3 パソコン本体について 70
4 ディスプレイについて 71
5 Webカメラについて 72
6 有線LANについて 72
7 無線LANについて 72
8 Bluetooth®について 73
9 周辺機器について 73
10 テレビ／外部ディスプレイ接続の操作にあたって 74
11 ハードディスク／SSDについて 77
12 指紋認証／顔認証について 78
13 顔認証センサーについて 79
14 TPMについて 80
15 ACアダプター（PAACA048）（オプション）を使用する場合の接続手順 80

2 記録メディアについて 81

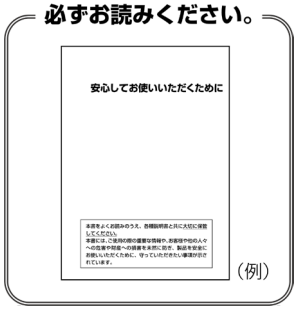
1 microSDメモリカードを使うにあたって 81
2 記録メディアの廃棄・譲渡について 82

3 技術基準適合について 83

リカバリーチェックシート 84

本製品のマニュアルをお読みになる前に

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。



（例）

本製品のマニュアルは、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

⚠危 険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警 告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注 意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
Memo	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	参照先を示します。 ・本書内への参照の場合…「　」 ・ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『　』

＊1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 本製品のマニュアル構成について

本製品をお使いになる際は、次のマニュアルを参照してください。

参照先	編名称	内容
付属の冊子または オンラインマニュアル または当社ホームページ 「dynabook.com」	安心してお使いいただくために	本製品を使用する際の重要な情報や、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項について説明しています。 **本製品を使用する前に、必ずお読みください。**
オンラインマニュアル または当社ホームページ 「dynabook.com」	取扱説明書 （本書）	各部名称や接続方法、電源の入れかた／切りかたなど、本製品の基本的な使用方法について説明しています。本製品を初期状態に戻す方法やサポート情報についても説明しています。
当社ホームページ 「dynabook.com」	準備編	リカバリーメディアの作成方法や、お客様登録方法など、あらかじめ準備していただきたい作業、トラブル発生時の解消方法などについて説明しています。
	活用編	本製品に搭載されているコネクタやスロットの使いかた、周辺機器の使いかた、各種セキュリティ機能などについて説明しています。
	BIOS編	BIOSセットアップの起動／終了方法、BIOSセットアップで設定できる項目について説明しています。

■『オンラインマニュアル』を参照する

①タスクバーにある検索ボックスに「オンラインマニュアル」と入力する
②検索結果に表示される［オンラインマニュアル］をクリックする

■当社ホームページ「dynabook.com」を参照する

①インターネットに接続できる環境から、以下のURLをクリックする
　マニュアルダウンロード（発表年別製品一覧）
　URL：https://dynabook.com/manual_download/index.html

3 用語について

システム
特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

Windows
Windows 11 ProまたはWindows 11 Homeを示します。

Office搭載モデル
Microsoft 365 Personal、Microsoft 365 1か月無料試用版、またはOffice Home & Business 2024をプレインストールしているモデルを示します。

SSD、HDD、ハードディスク
モデルによって、補助記憶装置として、SSD（ソリッドステートドライブ）またはHDD（ハードディスクドライブ）を搭載しています。
SSDとは、ハードディスクドライブの記憶媒体である磁気ディスクの代わりに、NANDフラッシュメモリを使用した大容量記憶媒体です。SSDの補助記憶装置としての機能は、ハードディスクドライブと同等です。

4 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体のハードディスク／SSDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- コントロールパネルの操作方法については、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
  画面右上の［表示方法］が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。



（表示例）

- 本書に記載している画面やイラストは、表示例のため、一部省略したり、実際とは異なる場合があります。
- 語尾をのばすカタカナ語の表記には、語尾に長音（ー）を適用している場合があります。画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。
- お使いのモデルにより、キーボードに印刷されている英字表記が異なります。キーボードのキーは、大文字の英字表記で説明しています（例：SHIFT）。

5 Trademarks

本書で使用している商標について記述します。

- Intel、インテル、Intelロゴ、Thunderbolt、Thunderboltロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Microsoft、Microsoft Edge、Microsoft Edgeロゴ、OneDrive、Skype、Windows、Windowsロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、BDXL™および関連ロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- Wi-Fi、Miracast、WPAは、Wi-Fi Allianceの登録商標あるいは商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- USB Type-C™、USB-C™、USB4™はUSB Implementers Forumの商標です。

- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

6 プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高1,000メートル（3,280フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温5～30℃（高所の場合25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。
これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサおよび64ビットOSが搭載されており、32ビットのデバイスドライバーやアプリケーションが正しく動作しない場合があります。

7 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、上演、演奏、展示、改変、複製物の譲渡および貸与、ならびにネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

8 お願い

- 次のいずれか以外の、システム（OS）、アプリケーションをインストールした場合の動作保証はできません。
  - 本体のハードディスク／SSDにインストールされている、システム（OS）、アプリケーション
  - Microsoft Storeで公開されている、本製品向けに提供されたアプリケーション
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 次のシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ使用できます。
  - 本体のハードディスク／SSDにインストールされている、システム（OS）、アプリケーション
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、次のサポート窓口に連絡してください。

  - Microsoft アカウントのパスワードやPINを忘れたとき：
    dynabook あんしんサポート使いかた相談窓口

  - その他のパスワードを忘れたとき：
    dynabook あんしんサポート修理相談窓口

- モデルによってはHDD／SSDパスワードを設定できますが、HDD／SSDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスク／SSDは永久に使用できなくなりますので、有料にてハードディスク／SSDを交換します。
  「その他のパスワード」の場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。
  またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- セキュリティロック・スロットがあるモデルの場合、セキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、パターンファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター クラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
  ウイルスチェックがまったく行われない状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。

- ご使用の際は必ず各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- ハードディスク／SSDや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。
  ハードディスク／SSDや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

「COCORO MEMBERS」へのご登録（お客様登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。

参照 お客様登録について『準備編』

9 操作の読み替えについて

＊タッチパネル搭載モデルのみ

本製品のマニュアルでは、代表的な操作例として、タッチパッドやマウスを使った操作（「クリック」／「ダブルクリック」など）手順を記載していますが、モデルによっては、画面に指やペン*1でタッチして操作することもできます。
タッチ操作を行う場合は、タッチパッドやマウスの操作の部分を、次のように読み替えてください。

- クリック → タップ
- ダブルクリック → ダブルタップ
- 右クリック → 長押し（ロングタップ）
  アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。

＊一部例外があります。
＊1 ペン付属モデルのみ

10 「Office」について

＊Office搭載モデルのみ

Microsoft 365 Personal、Microsoft 365 1か月無料試用版、またはOffice Home & Business 2024を使用するには、Windowsのセットアップ後、インターネットに接続して「Excel」や「Word」など「Office」のいずれかのアプリケーションを起動し、ライセンス契約に同意してください。

11 映像／音楽関連の機能を使用するにあたって

映像／音楽を扱うアプリケーションの使用中に、スリープ／休止状態への移行を行わないようにしてください。
エラーメッセージが表示されたり、アプリケーションが終了したりする場合があります。
その場合は、使用したいアプリケーションを再度起動してください。

12 H.264／AVC, VC-1and MPEG-4ライセンスについて

本製品は、AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL規格特許ライセンスのもとで、個人的利用および非商業利用目的に限り、お客様が以下のいずれか、または両方の使用を行うことが許諾されています。(i) AVC、VC-1、MPEG-4 VISUAL標準規格に従いビデオをエンコードすること（以下「AVCビデオ」、「VC-1ビデオ」、「MPEG-4ビデオ」という）、（ii）個人的、非商業的行為においてお客様によりエンコードされた、または／およびAVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオを提供するためにMPEG LAからライセンスを受けたビデオ提供者から取得した、AVCビデオ、VC-1ビデオ、MPEG-4ビデオをデコードすること。ほかの使用についてはライセンスを許諾されていません。上記以外の販売、社内利用および商業的利用など利用／許諾に関する情報については、MPEG LAのHP（https://www.via-la.com）より入手いただけます。

● H.264/AVC, VC-1 and MPEG-4 License Notice

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC, THE VC-1 AND MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i)ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE ABOVE STANDARDS ("VIDEO") AND/OR (ii)DECODING AVC, VC-1 AND MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON- COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE SUCH VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE https://www.via-la.com

13 Windows 11の操作について

Windows 11の操作については、当社ホームページ「dynabook.com」のサポートページをご確認ください。
以下のURLまたは右のQRコードからご確認いただけます。

最新のWindows 11 サポート情報
https://dynabook.com/assistpc/win11sup/index_j.htm

1章 パソコンの取り扱い

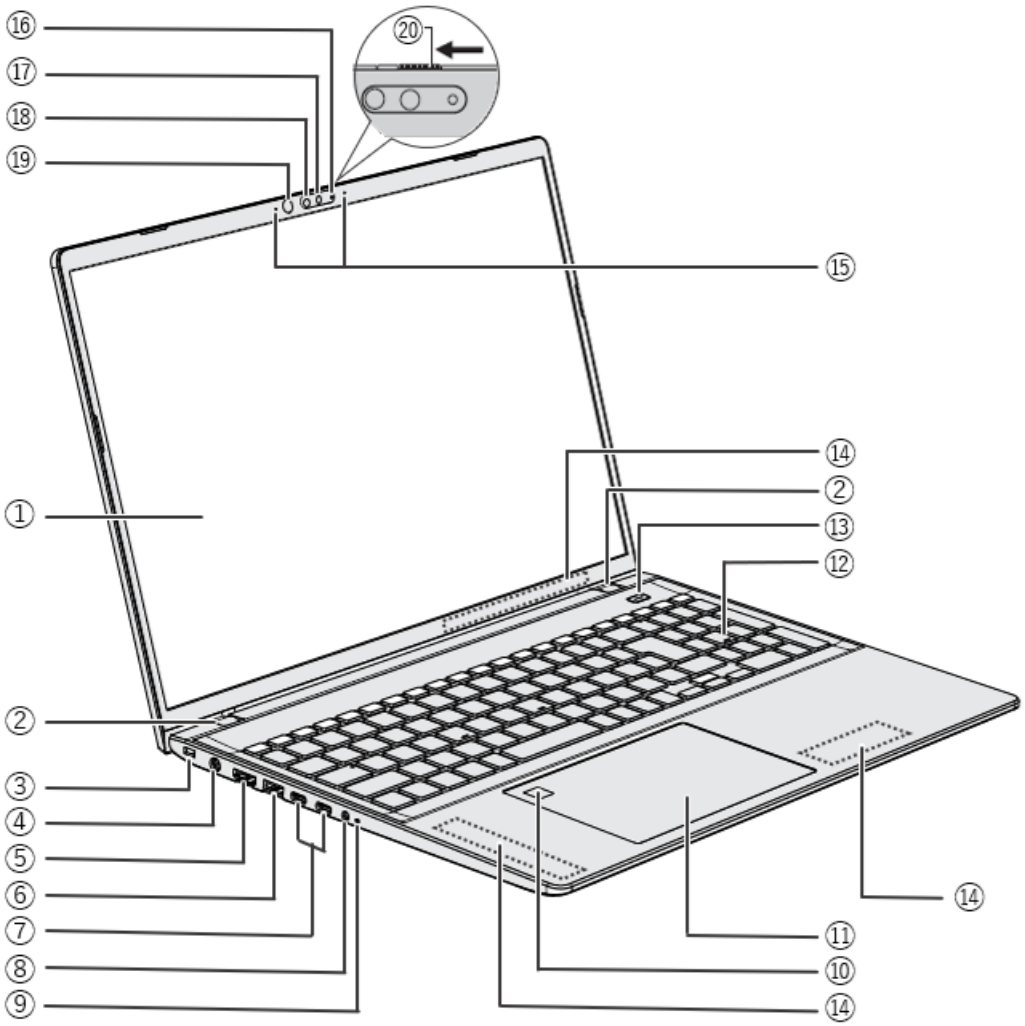
この章では、パソコンの各部の名称や電源を入れる／切る方法について説明しています。

1 各部の名称（外観図）

お願い **外観図について**

- 本製品に表示されているコネクタ／LED／スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成（モデルによっては選択できない構成があります）を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

1 前面図



①ディスプレイ（画面）
②ヒンジ
③セキュリティロック・スロット*1
盗難を抑止するためのセキュリティケーブルを接続できます。
セキュリティケーブルは、本製品に対応しているものをご利用ください。
詳しくは、販売店などに確認してください。
④電源コネクタ
⑤ HDMI® HDMI®出力端子
HDMI®ケーブルを接続して、HDMI®入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）にパソコンの映像を表示します
⑥USB3.2（Gen1）Type-Aコネクタ*2*3
USB対応機器を接続します。
USB3.2（Gen1）規格に対応しています。
⑦ Thunderbolt™ 4（USB4™ Type-C）コネクタ*4*5

Thunderbolt™ 4、USB4™規格に対応しており、USB／Thunderbolt™対応機器を接続するときに使用します。
また、USB Power Delivery（充電機能）に対応しており、PAACA048（オプション）で充電するときに使用します。
USB Type-C™接続の外部ディスプレイを接続することができます。
さらに、USB Type-C™アダプター RGBコネクタ単体タイプ*6を使って、RGBコネクタを持った外部ディスプレイを接続することもできます。
⑧マイク入力／ヘッドホン出力端子
マイクやヘッドホン、ヘッドセットを接続します。マイクはモノラル音声です。
⑨DC IN/Battery/ LED
電源コードとACアダプターの接続の状態やバッテリーの充電状態を示します。
参照 「バッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する（32ページ）」
⑩指紋センサー（タッチタイプ）
＊指紋センサー搭載モデルのみ
⑪タッチパッド（クリックパッド）、左ボタン、右ボタン
⑫キーボード
⑬電源スイッチ／Power LED
電源がONのとき、Power LEDが点灯します。
参照 「電源の状態をPower LEDで確認する（19ページ）」
⑭この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。
＊無線通信機能（無線LAN／Bluetooth®機能／ワイヤレスWAN機能）搭載モデルのみ
⑮内蔵マイク
＊内蔵マイク搭載モデルのみ
⑯WebカメラLED
＊Webカメラ搭載モデルのみ
Webカメラの使用時に点灯します。
⑰Webカメラ
＊Webカメラ搭載モデルのみ
写真や動画を撮影するためのものです。
⑱顔認証センサー
＊顔認証センサー搭載モデルのみ
⑲赤外線LED
＊顔認証センサー搭載モデルのみ
顔認証時に点滅します。
⑳Webカメラシャッター
＊Webカメラ搭載モデルのみ

＊1 セキュリティロック・スロットのサイズは約3mm×7mmです。
＊2 パソコンがスリープ状態であれば、常に本コネクタから外部機器に電源を供給できます。また、電源OFF、休止状態でも、パワーオフアンドチャージ機能を有効にすることで、本コネクタから外部機器に電源を供給できます。
＊3 以降、本書では「USB Type-Aコネクタ」と呼びます。
＊4 以降、本書では「Thunderbolt™（USB Type-C™）コネクタ」と呼びます。
＊5 パソコンがスリープ状態であれば、常に本コネクタから外部機器に電源を供給できます。
＊6 本品はオプションとなります。

⚠注 意
● **ロック部分が大きなセキュリティケーブルは使用しない** セキュリティロック・スロットにロック部分が大きなセキュリティケーブルを使用すると、パソコン本体が浮き上がり、指をはさんでけがをするおそれがあります。 また、パソコン本体が破損するおそれがあります。

お願い

Webカメラについて

● あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「Webカメラについて（72ページ）」

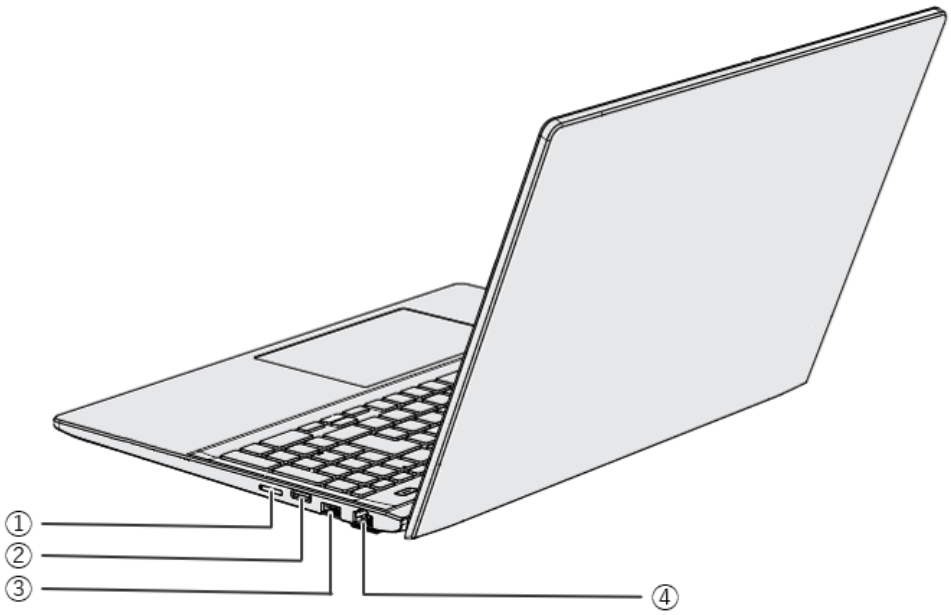
顔認証センサーについて

● 顔認証センサーを使用するときは、Webカメラシャッターを開けてください。

● あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「顔認証センサーについて（79ページ）」

2 背面図



① SIMカードトレイ
＊SIMカードトレイ搭載モデルのみ

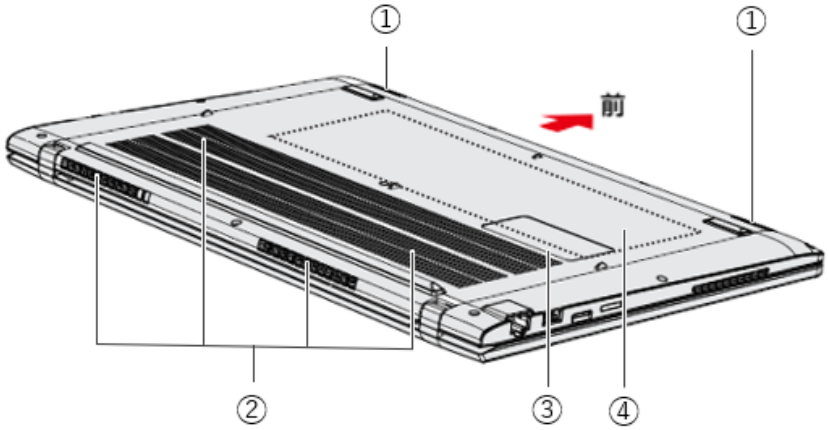
② microSDカードスロット
microSDメモリカードをセットします。

③ USB3.2（Gen1）Type-Aコネクタ*1
USB対応機器を接続します。
USB3.2（Gen1）規格に対応しています。

④ LANコネクタ
LANケーブルを使用して、通信回線に接続します。

＊1　パソコンがスリープ状態であれば、常に本コネクタから外部機器に電源を供給できます。

3 裏面図



①スピーカー
②通風孔
　空気を通します。ふさがないでください。
③型番と製造番号
　型番（機種名）と製造番号が記載されています。
④バッテリーパック
　本製品に内蔵されています。

⚠危 険

● **本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する**
お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。
寿命などで交換する場合はお問い合わせください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

お願い

本製品のメモリについて

- 本体の構造上、お客様ご自身でのメモリの交換・増設はできません。
交換・増設が必要な場合は、当社営業担当または、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口までご相談ください。
- モデルによっては、本体の構造上、メモリの交換・増設はできません。

外観について

- 通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。
通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることでパソコン内部に熱がこもるのを防いでいます。通風孔をふさがないでください。
通風孔の表面上のほこりは、やわらかい布でふき取ってください。通風孔の内部にほこりが入ったときは、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口に点検を依頼してください。この場合、有料となります。
- 裏面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoftのラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

＊Windows 11 Proの場合のみ

機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「機器への強い衝撃や外圧について（70ページ）」

4 外形寸法

＊数値は突起部を含みません。

幅	約357.0mm
奥行	約248.9mm
高さ	約19.9mm

2 電源を入れる

1 電源コードとACアダプターを接続する

⚠警 告
● ACアダプターは本製品に付属のもの、または本製品用ACアダプター（PAACA048）（オプション）を使用する 本製品付属以外のACアダプターを使用すると、火災・破裂・発熱のおそれがあります。 ● パソコン本体にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する 順番を守らないと、ACアダプターのプラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。また、ACアダプターのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れさせないようにしてください。

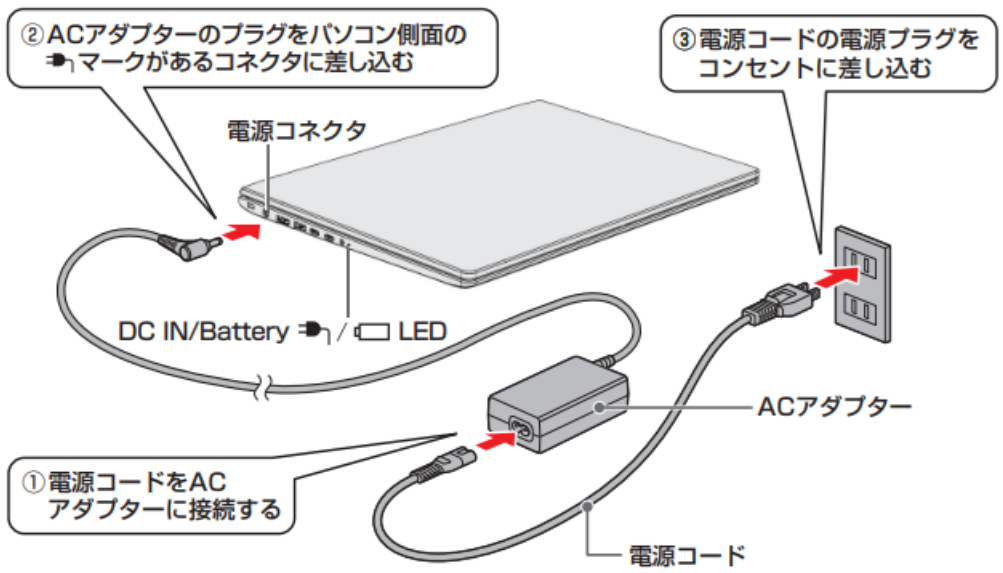
⚠注 意
● 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い **電源コード、ACアダプターの取り扱いについて**

● あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「電源コード、ACアダプターの取り扱いについて（69ページ）」

下の図の①→②→③の順で行ってください。



接続すると

DC IN/Battery/ LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery/ LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery/ LED 「バッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する（32ページ）」

Memo

- バッテリー充電中でもパソコンを使用することができます。

参照 詳細について「バッテリーについて（31ページ）」

- ACアダプター（PAACA048）（オプション）を使用する場合は、接続手順が異なります。

参照 詳細「ACアダプター（PAACA048）（オプション）を使用する場合の接続手順（80ページ）」

2 電源を入れる

お願い

ディスプレイを開けるときは

- 過度な力を加えてディスプレイを開けないでください。ディスプレイやヒンジに過度な力がかかると、破損や故障の原因となります。

参照 ヒンジ「本ページ 手順 1」

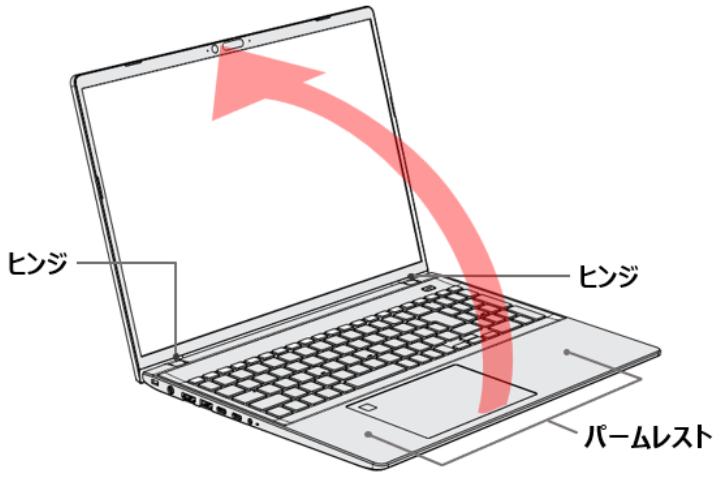
お願い

電源を入れる前に

- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1. パソコンのディスプレイを開ける

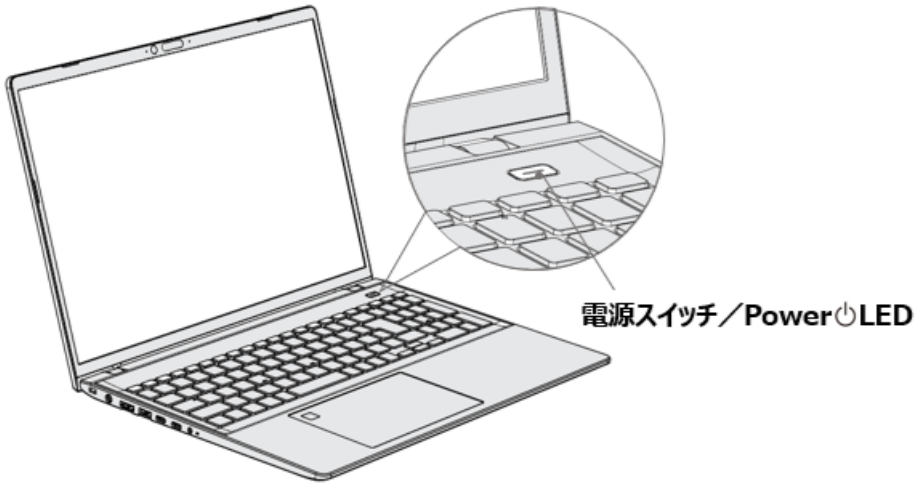
ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ（画面）部分には触れないようにしてください。



片手でパームレスト（キーボード手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

2. 電源スイッチを押し、指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。
電源スイッチの中心にあるPower⏻LEDが白色に点灯することを確認してください。



■ロック画面が表示された場合

ロック画面（画面中央に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、ENTERキーを押してください。次の画面に進みます。

■各種認証を設定している場合

パスワードやPIN、その他の認証設定を行っている場合は、認証画面に従って認証を解除してください。

■複数のユーザーで1台のパソコンを使用している場合

表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、ユーザーを切り替えてください。

電源の状態をPower⏻LEDで確認する

電源の状態はPower⏻LEDの点灯状態で確認できます。

	状態	パソコン本体の状態
Power⏻LED	白色の点灯	電源ON
	消灯	電源OFF、休止状態、スリープ中

Memo ● 条件によっては、点灯状態が異なる場合があります。

参照 電源に関するトラブル『準備編』の「Q&A集」

3 電源を切る／再起動／スリープ

パソコンを使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。

⚠警 告

● **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**

パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、パソコンの電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

- 無線通信機能は、次の手順でOFF にすることができます。
  ①通知領域の または アイコンをクリックする
  ②［機内モード］をクリックして、オンに切り替える
  オンになると、通知領域に アイコンが表示されます。
- スリープや休止状態では、パソコンが自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
- 電源を切った状態でも、パソコンが自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。
- ディスプレイを開くことで自動的に電源が入るパネルオープンパワーオン機能などを設定している場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください（パネルオープンパワーオン機能搭載モデルのみ）

お願い **電源を切る前に**

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- ハードディスク／SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- 記録メディア保護のために、記録メディアを取りはずしてください。

お願い **操作にあたって**

中断する前に

- スリープまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スリープまたは休止状態を実行するときは、記録メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。
  書き込み途中のデータがある状態でスリープまたは休止状態を実行すると、データの書き込みが正しく行われません。
- スリープまたは休止状態を実行するときは、記録メディアやUSB接続型の外付けハードディスク／SSDなどとのデータの読み出し、保存（書き込み）が完全に終了していることを確認してください。
  データのアクセス途中でスリープまたは休止状態を実行すると、データの読み出し、保存が正しく行われません。

中断したときは

- スリープ中や休止状態では、メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。（メモリの取り付け／取りはずしが可能なモデルのみ）
  ・保存されていないデータは消失します。
  ・感電、故障のおそれがあります。
  ・次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。

また、スリープ中にバッテリー残量が減少した場合も同様に、次回起動時にシステムが起動しないことがあります。
システムが起動しない場合は、電源スイッチを10秒以上（場合によっては18秒程度）押していったん電源を切ったあとで、再度電源を入れてください。この場合、スリープ前の状態は保持できていません。

1 電源を切る

パソコンを使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。作業を一時的に中断するときは、「スリープ」を実行します。

参照 スリープについて「スリープ（22ページ）」

電源を切るには、次のように操作してください。

1. **［スタート］ボタン（ ）をクリックする**

2. **［電源］（ ）→［シャットダウン］をクリックする**



（表示例）

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power⏻LEDが消灯します。

■SHIFTキーを押しながら、電源を切る

次のような場合は、SHIFTキーを押しながら電源を切ってください。

- パソコンの動作がおかしいとき（この方法で電源を切り、電源を入れ直すと、トラブルが解消される場合があります）
- 周辺機器の取り付け／取りはずしを行うとき
- BIOSセットアップを起動するとき　　など

1. **［スタート］ボタン（ ）をクリックする**

2. **［電源］（ ）をクリックする**

3. **SHIFTキーを押しながら、メニューから［シャットダウン］をクリックする**

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power⏻LEDが消灯します。

お願い **電源を切るときは**

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

Memo

- ［スタート］ボタン（）を右クリックして、表示されるメニューから［シャットダウンまたはサインアウト］→［シャットダウン］をクリックしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを10秒以上（場合によっては18秒程度）押すと、強制的に電源を切る（強制終了）ことができます。
  強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存されていないデータは消失します。

2 再起動

一度パソコン本体の電源を切り、自動的に再び電源を入れることを「再起動」といいます。
次のような場合は、再起動を行ってください。

- パソコンの動作がおかしいとき（再起動すると、トラブルが解消される場合があります）
- パソコンの設定を変更したとき　など

1. ［スタート］ボタン（）をクリックする

2. ［電源］（）→［再起動］をクリックする



（表示例）

パソコンが再起動します。

Memo

- ［スタート］ボタン（）を右クリックして、表示されるメニューから［シャットダウンまたはサインアウト］→［再起動］をクリックしても、再起動することができます。

3 スリープ

パソコンの使用を中断する場合は、パソコンを「スリープ」にしてください。次に電源スイッチを押したときに、すばやく中断したときの状態を再現することができます。
スリープ中はバッテリーを消耗しますので、電源コードとACアダプターを取り付けて使用することを推奨します。スリープ中にバッテリーの残量が少なくなると、保存されていないデータは消失します。スリープを実行する前に、データを保存してください。
なお数日以上使用しないときは、スリープではなく、必ず電源を切ってください。モダンスタンバイ対応モデルは、スリープ中もモダンスタンバイに対応したアプリケーションが処理を行っています。

1 スリープの実行方法

1. ［スタート］ボタン（ ）をクリックする

2. ［電源］（ ）→［スリープ］をクリックする



（表示例）

スリープ状態から復帰させるときは、電源スイッチを押してください。

Memo
- ［スタート］ボタン（ ）を右クリックして、表示されるメニューから［シャットダウンまたはサインアウト］→［スリープ］をクリックしても、スリープを実行することができます。

4 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する

パソコン本体の電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源OFF）、またはスリープ／休止状態などに移行することができます。

1 パソコン本体の電源スイッチを押したときの動作の設定

1. タスクバーにある検索ボックスに「コントロール パネル」と入力する

2. 検索結果に表示される［コントロール パネル］をクリックする

3. ［ハードウェアとサウンド］をクリックする

4. ［電源オプション］の［電源ボタンの動作の変更］をクリックする

5. ［電源ボタンを押したときの動作］で、移行する状態を選択する

［何もしない］に設定すると、電源ボタンを押しても状態は移行されません。
「バッテリ駆動」時と「電源に接続」時のそれぞれについて設定してください。

6. ［変更の保存］ボタンをクリックする

パソコン本体の電源スイッチを押すと、手順5で設定した状態へ移行します。

2 ディスプレイを閉じたときの動作の設定

ディスプレイを閉じることによって［スリープ状態］［休止状態］［シャットダウン］のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、本マニュアル内ではパネルスイッチ機能といいます。
パネルスイッチ機能を有効にする場合、次の設定を行います。

1. **タスクバーにある検索ボックスに「コントロール パネル」と入力する**

2. **検索結果に表示される［コントロール パネル］をクリックする**

3. **［ハードウェアとサウンド］をクリックする**

4. **［電源オプション］の［電源ボタンの動作の変更］をクリックする**

5. **［カバーを閉じたときの動作］で、移行する状態を選択する**

   ［何もしない］に設定すると、パネルスイッチ機能は働きません。
   「バッテリ駆動」時と「電源に接続」時のそれぞれについて設定してください。

6. **［変更の保存］ボタンをクリックする**

   ディスプレイを閉じると、手順5で設定した状態へ移行します。
   ディスプレイを開くと自動的にパソコンの電源が入るようにするには、パネルオープンパワーオン機能を有効に設定してください。

ディスプレイを開くと、電源が入るようにする

パネルオープンパワーオン機能は、ディスプレイを開くと自動的にパソコンの電源が入る機能です。
本機能は、次の手順で設定できます。

1. **タスクバーにある検索ボックスに「dynabook セッティング」と入力する**

2. **検索結果に表示される［dynabook セッティング］をクリックする**

   「dynabook セッティング」が起動します。

3. **［起動オプション］で［パネルオープンパワーオン］の設定を有効にする**

4 タッチパッド

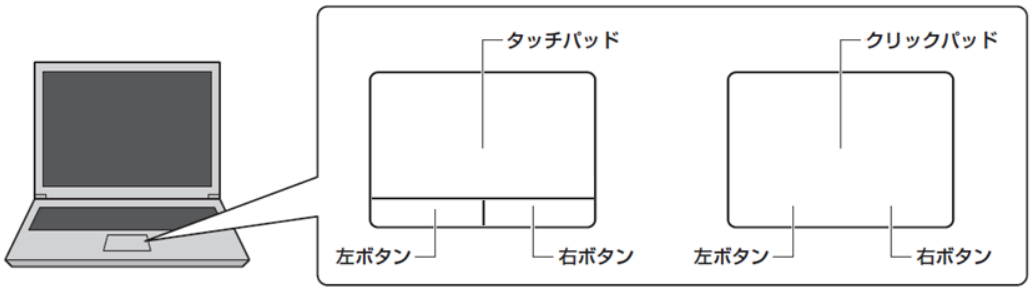
1 タッチパッドで操作する

パソコン本体には、「ポインター」を動かすタッチパッドと、操作の指示を与える左ボタン／右ボタンがあります。
タッチパッドと左ボタン／右ボタンを使ってポインターを動かし、パソコンを操作してみましょう。ここでは、タッチパッドと左ボタン／右ボタンの基本的な機能を説明します。

お願い **タッチパッドの操作にあたって**

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 詳細「タッチパッドの操作にあたって（70ページ）」

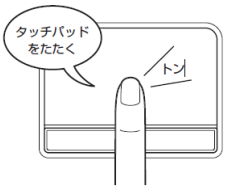


＊お使いのモデルによって形状が異なります。

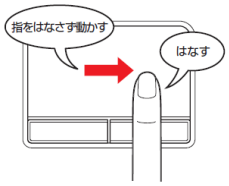
1 タッピングの方法

タッチパッドを指で軽くたたくことを「タッピング」といいます。
タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

■ クリック／ダブルクリック
タッチパッドを1回軽くたたくとクリック、2回たたくとダブルクリックができます。



■ ドラッグアンドドロップ
タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指をはなさずに目的の位置まで移動し、指をはなします。



役立つ操作集 **右クリックする**

右クリックすると、メニューが表示され、そこから行いたいことをクリックして選択できます。ポインターを目的の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。



（表示例）

5 タッチパネル

1 画面にタッチして操作する

＊タッチパネル搭載モデルのみ

タッチパネル搭載モデルでは、ポインターの代わりに、画面の表面を指でタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。
ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

お願い **タッチ操作について**

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「ディスプレイの取り扱いについて（71ページ）」

Memo

- アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

■タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。
アイコンの選択、ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。

■ダブルタップ

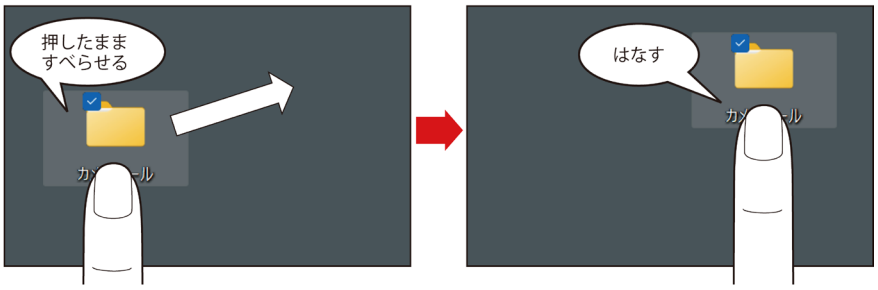
目的のアイコンなどを2回軽くタッチします。アプリケーションの起動などが行えます。

■長押し（ロングタップ）

アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。
触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。

■ドラッグ

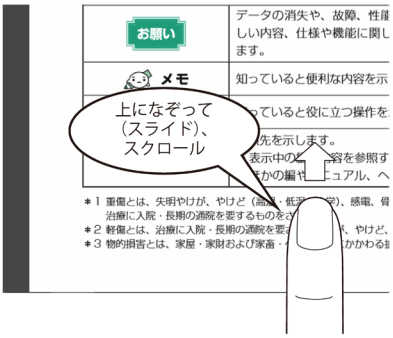
アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所まですべらせます。



■スワイプ、スライド

画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（スワイプ）、なぞったり（スライド）します。画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。

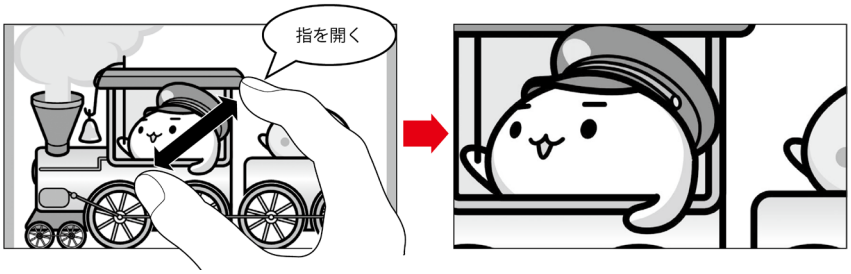




■ピンチアウト、ピンチイン

画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、画面に表示している内容や、画像の表示サイズを変更できます。

指を開く（ピンチアウトする）と拡大され、閉じる（ピンチインする）と縮小されます。

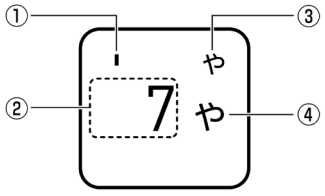


Memo ● ダブルタップを行っても、画面に表示している内容などを拡大／縮小できます。

6 キーボード

1 キーボードの文字キーの使いかた

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。キーボードの文字入力の状態によって、入力できる文字や記号が変わります。



＊お使いのモデルにより、キーボードに印刷されている文字の配置は異なります。

位置	入力する文字／記号	操作
①	記号を入力する	SHIFTキーを押しながら、キーを押します。
②	数字を入力する	ほかのキーは使わず、そのまま押します。
	アルファベットを小文字で入力する	ほかのキーは使わず、そのまま押します。
	アルファベットを大文字で入力する	SHIFTキーを押しながら、キーを押します。
	記号を入力する	ほかのキーは使わず、そのまま押します。
③	記号や、ひらがなの促音（そくおん、小さい「っ」）、拗音（ようおん、小さい「ゃ、ゅ、ょ」）を入力する	かな入力ができる状態でSHIFTキーを押しながら、キーを押します。
④	ひらがなや記号を入力する	かな入力ができる状態でキーを押します。

2 FNキーを使った特殊機能キー

キー	内容
FN ＋ ESC <スピーカーのミュート>	FNキーを押したまま、ESCキーを押すたびに本体のスピーカーやヘッドホンの音量のミュート（消音）のON／OFFが切り替わります。
FN ＋ A <マイクのミュート>	FNキーを押したまま、Aキーを押すたびに本体のマイク*1や接続したマイクのON／OFFが切り替わります。
FN ＋ S <検索画面の表示>	＊対応モデルのみ FNキーを押したまま、Sキーを押すと、検索対象を選択する画面が表示されます。
FN ＋ Z <キーボードバックライトの点灯のON／OFF>	＊キーボードバックライト機能搭載モデルのみ FNキーを押したまま、Zキーを押すたびにキーボードバックライトの一定時間点灯（タイマー）／常時点灯（オン）／消灯（オフ）が切り替わります。
FN ＋ SPACE <本体ディスプレイの解像度切り替え>	FNキーを押したまま、SPACEキーを押すたびに本体ディスプレイの解像度が切り替わります。
FN ＋ F1 <インスタントセキュリティ機能>	コンピューターをロックします。 解除するには、ENTERキーを押してください。 パスワードやPINなどの認証を設定している場合は、認証を行ってください。
FN ＋ F2 <電源プランの切り替え>	FNキーを押したまま、F2キーを押すたびに電源プラン（dynabook 標準／eco*2／バランス）が切り替わります。
FN ＋ F3 <スリープ機能の実行>	FNキーを押したまま、F3キーを押すと、スリープ機能が実行されます。
FN ＋ F4 <休止状態の実行>	FNキーを押したまま、 F4キーを押すと、休止状態になります。
FN ＋ F5 <表示装置*3の切り替え>	表示装置*3を切り替えます。 参照 詳細について『活用編』
FN ＋ F6 <本体ディスプレイの輝度を下げる>	FNキーを押したまま、F6キーを押すたびに本体ディスプレイの輝度が下がります。
FN ＋ F7 <本体ディスプレイの輝度を上げる>	FNキーを押したまま、F7キーを押すたびに本体ディスプレイの輝度が上がります。

＊1　マイク搭載モデルのみ

＊2　あらかじめecoユーティリティで「ecoモード」をオンに設定し、電源プラン「eco」を作成しておく必要があります。

参照 ecoユーティリティ『活用編』

＊3　本体ディスプレイ、テレビまたは外部ディスプレイを示します。

キー	内容
FN ＋ F8 ＜無線通信機能のON／OFF＞	FNキーを押したまま、F8キーを押すたびに、無線通信機能（無線LAN機能*1／Bluetooth®機能*2／ワイヤレスWAN機能*3）のON／OFFが切り替わります。 ［機内モード オフ］にすると無線通信機能はONになります。 ［機内モード オン］にすると無線通信機能はOFFになります。
FN ＋ F9 ＜タッチパッド ON／OFF＞	FNキーを押したまま、F9キーを押すたびにタッチパッドの有効／無効を切り替えます。
FN ＋ 1 ＜縮小＞	一部のアプリケーションなどで、FNキーを押したまま、1キーを押すと、画面やアイコンなどが縮小されます。
FN ＋ 2 ＜拡大＞	一部のアプリケーションなどで、FNキーを押したまま、2キーを押すと、画面やアイコンなどが拡大されます。
FN ＋ 3 ＜音量小＞	FNキーを押したまま、3キーを押すたびに音量が小さくなります。
FN ＋ 4 ＜音量大＞	FNキーを押したまま、4キーを押すたびに音量が大きくなります。

＊1　無線LAN機能搭載モデルのみ
＊2　Bluetooth®機能搭載モデルのみ
＊3　ワイヤレスWAN機能搭載モデルのみ

3 特殊機能キー

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャーの起動	CTRL+SHIFT+ESC	［タスクマネージャー］画面が表示されます。アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	PRTSC	Snipping Toolを起動します。
	ALT+PRTSC	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。
	⊞+PRTSC	現在表示中の画面をPNGファイルとして保存します。 PNGファイルは、タスクバーの［エクスプローラー］ボタン→［ピクチャ］→［スクリーンショット］に保存されています。

7 バッテリーについて

本製品には、バッテリーパックが内蔵されています。
初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続してバッテリーパックを充電してからご使用ください。
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動（電源コードとACアダプターを接続しない状態）で使うことができます。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめバッテリーパックを充電してください。
指定する方法・環境以外でバッテリーパックを使用した場合には、発熱、発火、破裂するなどの可能性があり、人身事故につながりかねない場合がありますので、十分ご注意をお願いします。
『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックを使用するときの重要事項が記述されています。あらかじめ該当箇所をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危 険
● **本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する** お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。 寿命などで交換する場合はお問い合わせください。 バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

参照 「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

お願い **バッテリーを使用するにあたって**

● あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 「バッテリーの使用／充電について（69ページ）」

1 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。

1 バッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する

電源コードとACアダプターを接続している場合、DC IN/Battery/LEDが点灯します。DC IN/Battery/LEDは次の状態を示しています。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN/Battery/LED	白色の点灯	充電完了
	白色の点滅	バッテリーの充電量を制限中 バッテリーが高温の状態が続いている状態です。バッテリーの劣化を防止するため、バッテリーの充電量を減らしています。バッテリーの温度が下がると充電を再開します。点滅が続く場合、故障の可能性があります。dynabook あんしんサポート修理相談窓口に連絡してください。
	オレンジ色の点灯	充電中
	オレンジ色の点滅	充電が必要 ● 電源が入っているとき バッテリーの残量が少なくなっています。電源コードとACアダプターを接続して、バッテリーを充電してください。 ● 電源が切れているとき バッテリーの残量が極端に少ない状態で、バッテリーを充電しています。
	消灯	電源コードとACアダプターを接続していない 電源コードとACアダプターを接続していても、以下の場合は消灯します。 ・充電モードで設定した充電量よりバッテリーの残量が多い場合。 ・充電中にバッテリーの温度が充電可能温度の範囲外となった場合。 ・ピークシフト動作中の場合。 ・パソコン内部の消費電力がACアダプターの電力を超過し、一時的にバッテリーから放電している場合。 上記以外で消灯したままの状態の場合は、(バッテリーの)異常の可能性があります。dynabookあんしんサポート修理相談窓口に相談してください。

お願い

- バッテリー充電中（DC IN/Battery/LEDがオレンジ色の点灯時）に、バッテリーの充電量が少ないと、電源が入らない場合があります。この場合は、しばらく充電してから電源を入れてください。

2 通知領域の［バッテリー］アイコンで確認する

通知領域の［バッテリー］アイコン（、）の上にポインターを置くと、バッテリー充電量が表示されます。



（表示例）

Memo **バッテリー充電量の減少について**

- 1ヵ月以上の長期にわたり、電源コードとACアダプターを接続したままパソコンを使用してバッテリー駆動を行わないと、バッテリー充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリー充電量が減少したときは、DC IN/Battery /LEDや［バッテリー］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に1度は、電源コードとACアダプターをはずしてバッテリー駆動でパソコンを使用することを推奨します。
- バッテリー駆動時にバッテリーが少なくなったとき（バッテリー切れ）の動作は、購入時は休止状態に設定されています。パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源が切れます。
- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、DC IN/Battery /LEDでも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

2 バッテリー充電モード

モデルによっては、「ecoユーティリティ」にて、バッテリー充電モードを選択できます。パソコンのご使用状況に合った充電モードを選択してください。

参照 ecoユーティリティで省電力の設定をする『活用編』

Auto／80%／70%の充電モードは、バッテリーの機能低下を遅らせる充電方式です。充電量が少ないため、バッテリー駆動時間は短くなります。

Autoモード（標準値）	バッテリーの充電状態や温度に応じて、バッテリー充電モードを100%まで充電する状態、または80%まで充電する状態に自動的に切り替えます。電源コードとACアダプターを接続した状態およびフル充電に近い充電量（約90%以上）が一定期間（約7日以上）継続した場合、80%まで充電する状態に切り替えます。また、充電量が約50%以下の状態でACアダプターを接続し、充電した場合、100%まで充電する状態に切り替えます。バッテリーでのご使用かACアダプターを接続してのご使用か特定されない場合におすすめのモードです。
100%充電モード	100%まで充電します。バッテリーでのご使用が多い場合におすすめのモードです。
80%充電モード	最大約80%まで充電します。ACアダプターを接続してのご使用が多い場合におすすめのモードです。
70%充電モード	最大約70%まで充電します。常にACアダプターを接続した状態で使用する場合におすすめのモードです。

Memo

- モデルによっては、バッテリー充電モードで以下のいずれかの場合に充電すると、通知領域の［バッテリー］アイコンの表示が  に変わります。
  - ・［80%充電モード］に設定した場合
  - ・［70%充電モード］に設定した場合
  - ・［Autoモード］に設定して、80%まで充電する状態に切り替わった場合

バッテリー充電制御について

［Autoモード］を選択しているときに、特定条件*1により80%まで充電する状態に切り替わると、通知領域に「バッテリー充電制御」アイコン（）が表示されます。
通知領域に「バッテリー充電制御」アイコンが表示されていない場合は をクリックしてください。
「バッテリー充電制御」アイコンをクリックすると表示されるポップアップから、100%まで充電する状態に切り替えることができます。

＊1 電源コードとACアダプターを接続した状態およびフル充電に近い充電量（約90%以上）が一定期間（約7日以上）継続した場合

Memo

- バッテリーの温度が基準値を超えているためにバッテリーの充電量を80%に制限している場合も「バッテリー充電制御」アイコンが表示されますが、この場合は100%まで充電する状態に切り替えることはできません。

設定方法

1. **タスクバーにある検索ボックスに「dynabook セッティング」と入力する**
2. **検索結果に表示される［dynabook セッティング］をクリックする**
3. **［ecoユーティリティ］の［バッテリー充電モード］を、［100%充電モード］以外に設定する**

2章 パソコンを再セットアップするには

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル対処方法を試しても解決できなかったときに行う、パソコンのリカバリーについて説明します。

1 パソコンを初期状態に戻す前に

＊dynabook リカバリーメディアクリエーター搭載モデルのみ

パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。ハードディスク／SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Microsoft アカウントのパスワードやPIN、またはWindowsパスワードなど）も購入時の状態に戻ります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスク／SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*1
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- dynabook あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップをとったデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『活用編』

1 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる　など	参照 「パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと（37ページ）」

▼

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windowsセットアップまで行います）

初期状態に戻す	参照 「パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）（39ページ）」
Windowsのセットアップ	参照『スタートアップガイド』 参照 「Windowsセットアップが終了したあとは（44ページ）」

▼

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続	参照『活用編』 参照『各機器に付属している説明書』
ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用の開始	参照『ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトに付属している説明書』
ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルの更新	参照 ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのヘルプ
Windows Update	参照『準備編』
メールの設定	参照『メールソフトに付属している説明書』
アプリケーションのインストールと設定	参照『アプリケーションに付属している説明書』
データの復元	参照 「バックアップをとったデータを復元する（44ページ）」

2 パソコンを初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

お願い
- 同じユーザーが引き続き使用する場合は、アカウントの情報（Microsoft アカウント等）を控えておいてください
- Office搭載モデルで、Microsoft アカウントでライセンス認証した場合は、リカバリー後も同じMicrosoft アカウントでのサインインが必要になります

準備するもの

- リカバリー手順と、巻末の「リカバリーチェックシート」を印刷したもの
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- リカバリーDVD-ROM（付属しているモデルの場合）
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）*1

*1 パソコン本体にブルーレイディスクドライブ／DVDスーパーマルチドライブ／DVD-ROMドライブを搭載していないモデルでDVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスク／SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、必要な場合は、記録メディア（DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊パソコン本体にブルーレイディスクドライブ／DVDスーパーマルチドライブ／DVD-ROMドライブを搭載していないモデルでCD／DVD／ブルーレイディスクにバックアップをとる場合、外付けの書き込み可能なCD／DVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。
ただし、すべての外付けCD／DVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- ［ドキュメント］、［ピクチャ］などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの［お気に入り］のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、ハードディスク／SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しない場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスク／SSDに保存されていたデータは復元できません。

■システムが起動しない場合

＊dynabook ファイルレスキュー搭載モデルのみ

「dynabook ファイルレスキュー」を使って、データのバックアップができる場合があります。

参照 dynabook ファイルレスキューについて『準備編』

指紋データを消去する

＊指紋センサー搭載モデルのみ

パソコンを初期状態に戻すと、以前使用していた指紋による認証は行えません（アカウント名を同じ名称にしても、指紋データは継承されません）。また、初期状態に戻すと、以前使用していた指紋データの削除もできなくなります。必ず、初期状態に戻す前に指紋データを消去してください。

指紋データは、ユーザー（アカウント）ごとの消去が必要です。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディアが、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、認証キーの番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Officeの確認を行う

＊Office搭載モデルのみ

Officeで使用したMicrosoft アカウントとパスワードを控えておいてください。

パソコンを初期状態に戻したあと、Officeを使用する際に、Microsoft アカウントでのサインインが必要です

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

＊無線通信機能搭載モデルのみ

機内モードがオン（通知領域に が表示）の場合は、機内モードをオフにしてください。

①通知領域の をクリックする

②［機内モード］をクリックして、オフに切り替える

機内モード オフ（通知領域には または が表示）　：無線通信機能ON

機内モード オン（通知領域には が表示）　：無線通信機能OFF

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

お願い **リカバリーを行うときの注意**

- 周辺機器は接続しないでください
  - ・リカバリーが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。
- 途中で電源を切らないでください
  - ・リカバリーの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。
- 操作は時間をあけないでください
  - ・リカバリー中にキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。しばらく入力装置（タッチパッドやキーボードなど）を操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。もう一度表示するには、SHIFTキーを押すか、タッチパッドなどをさわってください。
    キーやタッチパッドなどでは復帰せず、Power⏻LEDが点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

2 パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）

本製品をリカバリーする方法について説明します。

1 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- ハードディスク／SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする
- 付属のリカバリーDVD-ROMからリカバリーをする（付属しているモデルのみ）

通常はハードディスク／SSDからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスク／SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスク／SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『準備編』

Memo

- Windows11の回復機能を使って、パソコンを初期状態に戻すこともできます。

①［スタート］ボタン（）をクリックする。
②［設定］→［システム］→［回復］をクリックする。
③［このPCをリセット］で［PCをリセットする］をクリックし、［すべて削除する］を行ってください。

なお、回復機能でリカバリーを実行すると、「dynabook リカバリーメディアクリエーター」によるリカバリーメディアの作成ができなくなりますので、注意してください。回復機能でリカバリーを実行する場合は、あらかじめ「dynabook リカバリーメディアクリエーター」でリカバリーメディアを作成することをおすすめします。

2 ハードディスク／SSDからパソコンを初期状態に戻す

＊この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

次の操作の途中で、デバイスの暗号化の回復キーの入力を求められることがあります。次の操作を行う前に、デバイスの暗号化の回復キーを確認してください。

参照 回復キーについて『準備編』
（本機能に対応しているモデルにのみ記載があります。）

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

Memo

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- ［キャンセル］ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、［オプションの選択］画面が表示されるまで←ボタンをクリックし、［PCの電源を切る］ボタンをクリックしてください。
←ボタンが表示されていない場合は、［キャンセル］ボタンが表示されるまで操作を進めてから［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

①データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「電源を切る（21ページ）」

②電源コードとACアダプターを接続する

③電源スイッチを押し、すぐに 0（ゼロ）キー（かな入力の わキー）を数回押す

＊テンキー搭載モデルの場合でも、テンキーの 0（ゼロ）キーからは実行できません。

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して ENTERキーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

④「Yes」（「YES」）または「はい」を選択して、ENTERキーを押す

⑤［トラブルシューティング］をクリックする

⑥［dynabook Maintenance Utility］をクリックする

回復キーを入力する画面が表示された場合は、手順⑦に進んでください。

［ツールの選択］画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

⑦回復キーを入力して［続行］をクリックする

［このドライブをスキップする］は選択しないでください。

参照 回復キーについて『準備編』

⑧［dynabook Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑨画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

⑩［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスク／SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク／SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「ハードディスク／SSDの内容をすべて消去する（65ページ）」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

⑪［次へ］ボタンをクリックする
処理が開始され、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
⑫［終了］ボタンをクリックする
Windowsセットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。この間は絶対に電源を切らないでください。また、ディスプレイを閉じないでください。
⑬Windowsセットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う
参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

3 リカバリーメディアからパソコンを初期状態に戻す

＊この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

ここでは、リカバリーメディアを使用する場合を例に説明します。付属のリカバリーDVD-ROMを使用する場合も同様に操作してください。
リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

お願い リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。
参照 リカバリーメディアの作成『準備編』

Memo
- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアでリカバリーをする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- Thunderbolt™（USB Type-C™）コネクタを搭載しているモデルで、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用する場合は、USB Type-Aコネクタへ接続してください。
Thunderbolt™（USB Type-C™）コネクタへ接続すると、光学ドライブが認識されない場合があります。
- 操作を中断したい場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

①電源コードとACアダプターを接続する
②リカバリーメディアをセットする
リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。
USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。
参照 USBフラッシュメモリやDVD／ブルーレイディスクを本製品にセットする場合『活用編』
参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』
③データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る
参照 電源の切りかた「電源を切る（21ページ）」
④電源スイッチを押し、すぐに F12キーを数回押す
パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して ENTERキーを押してください。
⑤↑ または ↓キーで起動ドライブを選択する
- リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は、本製品の光学ドライブ*1を示す項目（［ODD］、［EFI DVD/CDROM］など）、または外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［ODD］、［USB ODD］、［EFI USB Device］など）を選択し、ENTERキーを押してください。
＊1 光学ドライブ搭載モデルのみ
- リカバリーメディアUSBフラッシュメモリの場合は、USBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］、［EFI USB Device］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

⑥［dynabook Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
警告メッセージ画面が表示されます。
⑦画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

⑧［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスク／SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク／SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照 「ハードディスク／SSDの内容をすべて消去する（65ページ）」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

⑨［次へ］ボタンをクリックする
処理が開始され、［しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。
リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、［OK］ボタンをクリックしてください。
処理が完了すると、終了画面が表示されます。

⑩リカバリーメディアの種類により次の操作を行う
- DVD／ブルーレイディスクの場合
  (1)［終了］ボタンをクリックする
  自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
  (2) リカバリーメディアを取り出す
- USBフラッシュメモリの場合
  (1) USBフラッシュメモリを取りはずす
  (2)［終了］ボタンをクリックする

再び画面が切り替わります。Windowsセットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。この間は絶対に電源を切らないでください。また、ディスプレイを閉じないでください。

⑪Windowsセットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

3 Windowsセットアップが終了したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定や更新を行ってください。インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。
その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。
参照 詳細について「パソコンを初期状態に戻す（リカバリー）流れ（36ページ）」

Memo
- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。
参照 アプリケーションの再インストール『準備編』

バックアップをとったデータを復元する

バックアップをとったデータを使いたい場合は、バックアップをとった記録メディアからデータを読み込んでください。
アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

3章 アプリケーション／ユーティリティ

本章でご紹介しているアプリケーションやユーティリティは、搭載モデルでのみご使用いただけます。

★印のソフトウェアのみ、当社でサポートを行っております。その他のソフトウェアに関してはソフト製造元各社でサポートを行っております。
お問い合わせ先については、当社ホームページ「dynabook.com」の「プレインストールソフトお問い合わせ窓口」をご確認ください。

OSやMicrosoft製品に関するお問い合わせ先については「お問い合わせ先（OS／アプリケーション）（47ページ）」をご確認ください。

名称	概要	お問い合わせ窓口
i-フィルター® for マルチデバイス（30日版）	お子さまに見せたくないサイトをブロックする	
ウイルスバスター クラウド™ 90日版	コンピューターウイルスを退治する	
AIノイズキャンセラー	ミーティング中の突発的なノイズも除去してくれる	★
ワンタッチマイクミュート	キー操作ですばやくマイクミュートできる	★
TVコネクトスイート	見たいTV番組を好きな場所で楽しめる	★
CyberLink PowerDirector for dynabook	プロ並みのビデオ作品を簡単操作でつくる	
CyberLink Screen Recorder for dynabook	デスクトップ画面を録画する	
CyberLink PhotoDirector for dynabook	自然な仕上がりの写真編集が楽しめる	
sMedio True BD for dynabook	ブルーレイを再生する	★
sMedio True DVD for dynabook	DVDを再生する	★
Dolby Access	映画館で使われる立体音響効果を楽しむ	★
DTS Audio Processing	進化した音響技術で高い臨場感を楽しむ	★
筆ぐるめ for dynabook	はがきや住所録をかんたんに作成する	
dynabook スマホコネクション	プレゼンでなどで、スマホをPCのリモコン代わりに使える	★
PC引越ナビ2	新しいPCへのデータ移行が初心者でもかんたん	★
dynabook リカバリーメディアクリエーター	システムやアプリを購入時の状態に復元するためのリカバリーディスクを作成する	★
おたすけナビ	やりたいことからアプリを探す	★
dynabook サービスステーション	トラブルの兆候を教えてくれる	★

dynabook サポートユーティリティ	システム情報を表示	★
dynabook ファイルレスキュー	起動しないPCから大切なデータを救助する	★
ハードディスクデータ消去機能	PC廃棄時、個人情報などのデータ流出を回避する	★
Realtek Audio Console	音量調節やスピーカーの設定などを管理する	★
dynabook 色合い調整ユーティリティ	画面の色合いや色の濃さを、お好み通りに簡単調整	★
dynabook 画面回転ユーティリティ	画面表示をワンタッチで180度回転させる	★
ぱらちゃん	ぱらちゃんが新着メールやスケジュールを教えてくれる	★
dynabook お客様登録	すぐにお客様登録が行える	★
dynabook セッティング	各種設定を変更する	★
Dropbox	オンラインストレージサービス	
ExpressVPN	仮想プライベートネットワークサービス	

4章 サポート関連のご案内

この章では、アプリケーションやOSのお問い合わせ先、サポート窓口についてご案内しています。日常のお手入れ方法や、パソコンを捨てたり人に譲ったりするときに必要な対応についても説明しています。

1 お問い合わせ先（OS／アプリケーション）

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。
＊2026年7月現在の内容です。
　各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

1 OSのお問い合わせ先

Windows 11の操作方法などの一般的なお問い合わせ先は、dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口になります。

＊Windows 11のアップグレードに関するお問い合わせ先は、マイクロソフト株式会社になります。

Windows 11に関するサポート情報は、以下のマイクロソフト ホームページでもご確認いただくことができます。
http://support.microsoft.com

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Word／Excel／PowerPoint／Outlook／OneNote／Access／Publisher

上記Office製品を初めてご利用する際、インターネット接続環境およびMicrosoft アカウントでのサインインが必要です。
Office製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社　マイクロソフト サポート受付窓口
サポートサイト　：https://aka.ms/online
Microsoft 365 カスタマー サービス & サポート
　　：https://aka.ms/spcj
サポート有効期間：サポートライフサイクル期間内
　　※サポートライフサイクルについては、
　　http://support.microsoft.com/lifecycle/search/をご確認ください。

<サポートWebサイト>
Office製品に関する情報やお問い合わせ情報などにつきましては、下記Webサイトもご確認ください。下記アドレスをワンボックス（アドレスバー）に直接入力いただければ、Webサイトにアクセスできます。

●Office製品情報：
製品の機能や使い方などの製品情報
https://support.microsoft.com/ja-jp/office

●Microsoft アカウントについて：
Microsoft アカウントの登録方法や便利な使いかたなどについては、下記のサイトをご確認ください。
https://microsoft.com/ja-jp/msaccount

●Officeのセットアップについて：
製品を使い始めるときのセットアップについては、下記のサイトをご確認ください。
https://www.office.com/jppipcsetup

●サポート情報：
製品に関するお問い合わせやサポート情報については、下記のサイトをご確認ください。
https://office.com/jppipcsupport

当社サポートのアプリケーション
＊本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。

dynabook あんしんサポート使いかた相談窓口

［固定電話から］ 0120-97-1048（通話料無料）
［携帯電話から］ 0570-66-6773（通話料お客様負担）
海外からのお電話や一部のIP電話などで、上記電話番号をご利用になれない場合は、043-298-8780（通話料お客様負担）へおかけください。
※電話番号はお間違えのないよう、ご確認のうえおかけください。

［受付時間］ 9:00～18:00（休業日：12/31～1/3）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
日程は、サポートサイト（https://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。

［ご注意］
①お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「COCORO MEMBERS」にご登録ください。使いかた相談窓口のご利用には、「COCORO MEMBERS」へのご登録（お客様登録）が必要です。
参照 「COCORO MEMBERS」への登録方法『準備編』

②ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
③ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
・ご購入日から5年経過後のサポート料金：有料
④（詳しくはdynabook.comをご覧ください）
https://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial2016.htm
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。

⑤お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。

⑥おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。使いかた相談窓口は、ガイダンスの後で [*] [1] をプッシュしてください。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、当社の個人情報保護方針のページ（https://dynabook.com/corporate/privacy.html）をご覧ください。

当社でサポートを行っていないソフトウェアに関してはソフト製造元各社でサポートを行っております。
ご連絡先については、当社ホームページ「dynabook.com」の「プレインストールソフトお問い合わせ窓口」をご確認ください。

2 サービス&サポートのご案内

「PCサポートページ（dynabook）」https://dynabook.com/assistpc/pg
＊2026年7月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート対応は、お問い合わせの内容や手段によって、窓口が分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段			
	電話	Web	訪問	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	FAQ	訪問サポート	
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		FAQ		
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス			
故障かどうか調べたい	修理	FAQ		
インターネットで修理の申し込みをしたい		PC i-repair		PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい				
海外から修理を依頼したい	修理	ILW		
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい		FAQ		
自宅に来てトラブルを解決してほしい			訪問サポート	
パソコンの調子が悪いので、パソコンを預けて点検してほしい	点検	点検		
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい			訪問サポート	
パソコンの中からデータを救い出してほしい	データ復旧			
パソコンの設定を代わりにしてほしい	有料サポート		訪問サポート	
マンツーマンでレッスンを受けたい				

困ったときのご相談	手段			
	電話	Web	訪問	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談				
お客様登録をしたい		COCORO MEMBERS		
ACアダプターを購入したい		購入窓口		
メモリを購入したい*1				
バッテリーパック搭載モデルの場合、バッテリーパックを購入したい*2				
バッテリーパック内蔵モデルの場合、バッテリーパックの交換を依頼したい*2	バッテリーパック交換 *3			
保証期間を延長したい		有料サポート		
使用済みパソコンの回収・リサイクルのご相談				
不要になったパソコンを廃棄したい（個人）	リサイクル個人	リサイクル個人		
不要になったパソコンを廃棄したい（企業）	リサイクル企業			

＊1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかったり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。
裏面図、または裏面図の「お願い」をご確認ください。

参照 本製品のメモリを確認する「裏面図（15ページ）」

＊2 充電機能が低下した場合、ご使用のモデル（バッテリーパック搭載モデル／バッテリーパック内蔵モデル）によって、対応窓口が異なります。
裏面図をご確認ください。

参照 本製品のバッテリーを確認する「裏面図（15ページ）」

＊3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■お電話でのスムーズな問い合わせのコツ

1. ご使用のパソコンの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、［システム情報］画面、またはパソコン本体の裏面などの表示でご確認いただけます。
［システム情報］は、次のいずれかの方法で確認できます。

・dynabook サービスステーションが搭載されている場合
①タスクバーにある検索ボックスに「dynabook サービスステーション」と入力する
②検索結果に表示される［dynabook サービスステーション］をクリックする
③起動した［dynabook サービスステーション］内の［システム情報］をクリックする

・dynabook サポートユーティリティが搭載されている場合
①タスクバーにある検索ボックスに「dynabook サポートユーティリティ」と入力する
②検索結果に表示される［dynabook サポートユーティリティ］をクリックする
③起動した［dynabook サポートユーティリティ］内の［システム情報］をクリックする

2. どのような症状が起こりましたか？エラーメッセージなどは表示されましたか？
3. その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？
4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。
5. 事前にお客様登録（https://cocoromembers.jp.sharp）をおすすめします。

■各問い合わせ先について＊電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

dynabook あんしんサポート使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「COCORO MEMBERS」にご登録（お客様登録）ください。
使いかた相談窓口のご利用には、「COCORO MEMBERS」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照 「COCORO MEMBERS」への登録方法『準備編』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
   - ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
   - ご購入日から5年経過後のサポート料金：有料（詳しくはdynabook.comをご覧ください）
   https://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial2016.htm
   1件はお電話での回数ではなく、1 つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
   お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。
3. お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。
［固定電話から］0120-97-1048（通話料無料）
［携帯電話から］0570-66-6773（通話料お客様負担）
海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）
受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）

遠隔支援サービス **遠隔支援サービス**

https://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm
電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

FAQ **当社ホームページ「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答**

https://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm
「dynabook あんしんサポート」にお問い合わせが多い内容についてランキング形式で紹介しています。
https://dynabook.com/assistpc/faq_search/faq_ranking_call.htm

修理 **dynabook 集中修理センター（dynabook あんしんサポート修理相談窓口）**

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。
［固定電話から］0120-97-1048（通話料無料）
［携帯電話から］0570-66-6773（通話料お客様負担）
海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）
受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）

PC i-repair **dynabook 集中修理センター**

https://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm
個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A本当に故障かわからないとき
https://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm
インターネットからの修理のお申し込み
https://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm
修理状況の確認（携帯からアクセス可能）
http://pcrepair.jp

修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。
＊ 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■企業のお客様の本製品（国内仕様）修理依頼は法人向け修理・サポートダイヤル
https://dynabook.com/assistpc/repaircenter/b2b/shuuri_houjin.htm
電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）
受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）
FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

ILWサポート（海外保証・制限付）

https://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm
ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございます。
ホームページからの修理申し込み：https://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm
電話番号：
［海外から］81-43-298-8780（通話料お客様負担）
［固定電話から］0120-97-1048（通話料無料）
［携帯電話から］0570-66-6773（通話料お客様負担）
一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：043-298-8780（通話料お客様負担）
受付時間：9:00-18:00（休業日：12/31～1/3）
※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

ILW制限事項・注意事項

https://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm

電源コードやACアダプターなどの付属品の購入窓口 ＊個人のお客様向け

https://dynabook.com/assistpc/accessories/index_j.htm

バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。
バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

●バッテリーパック交換（個人）
dynabook あんしんサポート修理相談窓口にご連絡ください。

●バッテリーパック交換（企業）
営業担当にご連絡ください。

dynabook あんしん点検（有料）の申し込み ＊個人のお客様向け

https://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm
PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。

リサイクル 個人 **PCリサイクルのご相談（個人）**

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。
個人・家庭からの使用済み当社製パソコンを廃棄するときは、dynabook リサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：dynabook リサイクルセンター

https://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm
電話番号：043-303-0200
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、DVD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（当社製パソコン）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

2003年9月末日までに当社から出荷された「PCリサイクルマーク」のない「個人・家庭向けパソコン」については、回収・再資源化に関する費用を、排出の際にお客様に料金をご負担していただきます。
料金につきましては、dynabook リサイクルセンターまでお問合せください。

リサイクル 企業 **PCリサイクルのご相談（企業）**

一般社団法人パソコン3R推進協会の「事業系PC業界回収スキーム」で実施しております。詳しくは、以下のURLからご確認ください。

「パソコンのリサイクル・買取り（法人向け）」
https://dynabook.com/assistpc/purchase/index_j.htm

有料 サポート **有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／dynabook 延長保証サービス ＊個人のお客様向け**

・PC遠隔レッスンサービス
　個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。
・PC遠隔代行サービス
　周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。

dynabook 有料サポートサービスのご紹介

有料サポートサービスでは、dynabook あんしんサポートで一部「サポート外」となっているOffice製品の操作方法、Outlookのメール設定などについて、有料で幅広い範囲のご相談を承っております。豊富な知識と高いスキルを持つアドバイザーが「担当者主導」でご対応します。事前相談は無料となっておりますので、お気軽にお問い合わせください。

TEL：043-279-2614　FAX：043-270-1329
URL：https://dynabook.com/assistpc/support/index_j.htm

■受付時間
Web／FAX：24時間365日お申し込み可能
電話：9:00～11:45／13:00～18:00（12/31～1/3、当社指定休業日を除く）

・dynabook 延長保証サービス
メーカー無償保証を延長する「dynabook あんしん延長保証」と、さらにメーカー保証では対象とならない落下、水こぼし、破損、落雷等の損傷もカバーする「dynabook プレミアム保証」をご用意しています。
https://dynabook.com/assistpc/encho/index_j.htm



dynabook データ復旧センター（有料）のご案内

突然起きるハードディスク／SSD故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。※お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

dynabook データ復旧センター
論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBフラッシュメモリなどにバックアップいたします。
※データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBフラッシュメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】
https://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm
電話番号：043-277-9270（通話料お客様負担）
受付時間：9:00～18:00（休業日：12/31～1/3）

【企業のお客様】
電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）
※フリーダイヤルがご利用できない場合は03-6631-5469（通話料お客様負担）
受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）
FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）



dynabook 訪問サポート（有料）＊個人のお客様向け

https://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm
訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社
電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00　年中無休

3 デイリーケアとアフターケア

1 日常の取り扱いとお手入れ

『安心してお使いいただくために』の「安全上のご注意」、「ご使用上のお願い」に、日常の取り扱いとお手入れをするときに守ってほしいことが記述されています。あらかじめ該当箇所をよく読んで、指示を守ってください。
日常の取り扱いでは、次のことも守ってください。

パソコン本体および付属品について

- 『安心してお使いいただくために』の「安全上のご注意」、「ご使用上のお願い」に、パソコン本体、ACアダプター、電源コードを使用するときに守ってほしいことが記述されています。あらかじめ該当箇所をよく読んで、指示を守ってください。
- 機器の汚れは、柔らかくきれいな乾いた布などでふき取ってください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってからふきます。
- 中性洗剤、揮発性の有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- 可燃性ガスのエアゾールやスプレーを使用しないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。*1
  温度5～35℃、湿度20～80%

*1 使用環境条件は、本製品の動作を保証する温湿度条件であり、性能を保証するものではありません。

- 高温になる場所や湿度の高い場所には置かないでください。
- 水をかけたり、湿気の多いものの上に置かないでください。
- 落としたり、衝撃を与えないでください。
- 分解しないでください。
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカーなどの近く）／ほこりの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面やACアダプターが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- ケーブル類は折り曲げたり、巻き付けたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 電源プラグを長期間にわたってコンセントに接続したままにしていると、電源プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりをふき取ってください。

キーボード

- 柔らかい乾いた素材のきれいな布でふいてください。
  汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってふきます。
- キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナーで取り除きます。
  ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、dynabook あんしんサポート修理相談窓口または保守サービスに相談してください。
- 飲み物など液体をこぼしたときは、ただちに電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック（バッテリーパック搭載モデルのみ）を取りはずして、dynabook あんしんサポート修理相談窓口または保守サービスに相談してください。

タッチパッド

- 乾いた柔らかい素材のきれいな布でふいてください。
  汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってからふきます。

ディスプレイ

■画面のお手入れ

- ディスプレイはほこりがつきやすいので、いつもきれいな状態でお使いください。
- ディスプレイ表面は傷つきやすいので、タッチパネル搭載モデル以外ではむやみに画面を触らないでください。タッチパネル搭載モデルの場合でも指や専用ペンで操作し、強い負荷をかけないようにしてください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で軽くふき取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐにふき取ってください。
  ふき取る際は、力を入れないで軽く行ってください。

■残像防止について

長時間同じ画面を表示したままにしていると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ることがあります。この現象を残像といいます。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると画像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使いかたは避けてください。
また、次の機能を利用すると、残像防止ができます。

- スクリーンセーバーを設定する
- ［画面とスリープ］で「バッテリー駆動時に、次の時間が経過した後に画面の電源を切る」または「電源接続時に、次の時間が経過した後に画面の電源を切る」を設定する

■表示について

TFTカラー液晶ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られております。非点灯、常時点灯などの画素（ドット）が存在することがあります（有効ドット数の割合は99.99%以上です。有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」です）。また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

CD／DVD／ブルーレイディスク

CDメディア／DVDメディア／ブルーレイディスクメディアなどを取り扱うときは、次の点を守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分注意すること
- データ表面を持たない、外側の端か、中央の穴のところを持つようにする
- データ記憶面／レーベル面ともにラベルを貼らない
- レーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンなどを使用し、ボールペンや鉛筆などペン先が硬いものは使用しない
- 直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かない
- 汚れたりほこりをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で円盤の中心から外側に向かって直線上にふき取ること
  乾燥した布ではふき取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

2 アフターケアについて

修理サービスについて

修理サービスのご相談は、dynabook あんしんサポート修理相談窓口または保守サービスへお問い合わせください。

参照 「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

修理や点検の際に、ハードディスク／SSDの交換、初期インストール作業（標準出荷状態）など、お客様が記憶装置内に記録されたデータやインストールされたソフトウェアは消去される場合があります。
必ず、定期的にまたは修理や点検を依頼される前に、バックアップをとり、重要な内容は紙などに控えておいてください。

また、各種パスワード（指紋認証を含む）を設定している場合は、パスワードを削除してから修理や点検を依頼してください。パスワードが設定されたまま修理を依頼すると、修理を行えない場合があります。

記録内容が変化・消失したことによる損失・損害などの請求につきましては、いっさいその責任を負いかねます。

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温湿度など）などの条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1日に約8時間、1ヵ月で25日のご使用で約5年です。上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、24時間を超えるような長時間連続使用など、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換（有料）が必要となります。

■対象品名

本体液晶ディスプレイ、ハードディスクドライブ*1、ソリッドステートドライブ（SSD）*1、内蔵フラッシュメモリ*1、DVD／ブルーレイディスクドライブ*1、キーボード*1、タッチパッド*1、マウス*2、充電式アクティブ静電ペン*2、アクティブ静電ペン*2、冷却用ファン*1、ディスプレイ開閉部（ヒンジ）*1*3、
ACアダプター

＊1 搭載されているモデルが対象です。
＊2 付属しているモデルが対象です。
＊3 ディスプレイを開いたときに固定するための内部部品です。

一般社団法人電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」について
http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_FuLZW1JpDj.pdf

消耗品について

■バッテリーパック

バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルは、パソコン本体の裏面をご確認ください。
参照 ご使用のモデルの確認「裏面図（15ページ）」

●バッテリーパック搭載モデルの場合

充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパックと交換してください。
参照 バッテリーパックの購入について「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

●バッテリーパック内蔵モデルの場合

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。
参照 バッテリーパックの交換の依頼について「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

付属品について

付属品（バッテリーパック・ACアダプターなど）をお買い求めになる場合は、dynabook 付属品販売サービスよりご購入ください。
https://dynabook.com/assistpc/accessories/index_j.htm

ハードウェアの保証とアフターサービスについて

■修理について

【無料修理（保証修理）】

各種説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障したときに、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）。

【有料修理】

保証書に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業（詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください）については、有料修理をいたします。

参照 修理依頼「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

■部品について

【部品の交換について】

保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。なお、有料修理でユニット修理を適用した場合および無料修理の交換元（取りはずした）部品の所有権は、当社または当社の認める各保守会社に帰属します。

【保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間】

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製造終了後、5年です。

■最新情報について

当社ホームページ「dynabook.com」では、常に最新のサポート情報を提供しています。定期的に最新情報をご確認ください。

サポート情報：https://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

3 無線LANやインターネットの使用に関するお願い

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）
無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
  IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
  メールの内容
  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っているので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

セキュリティ機能

セキュリティ機能を使用しないと、無線LAN経由で部外者による不正アクセスが容易に行えるため、不正侵入や盗聴、データの消失、破壊などにつながる危険性があります。不正アクセスを防ぐために、暗号化機能（WPA3™、WPA2™）を設定されることを強くおすすめします。
また、お使いの無線LANアクセスポイントで、登録したMACアドレスのみ接続可能にする設定などの対策も有効です。公共の無線LANアクセスポイントなどで使用される場合は、「Microsoft Defenderファイアウォール」やファイアウォール機能のあるウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを使用して、不正アクセスを防止してください。

青少年がおられる家庭の皆様へ～重要なお知らせとお願い

インターネットの発展によって、世界中の人と容易に電子メールをやりとりしたり、国や企業が公開しているインターネット上のサイトを閲覧したりすることで、必要なときに必要とする情報を瞬時に検索することが可能です。しかしながら、インターネットには、違法情報や有害情報のほか不確かな情報が氾濫しているという負の側面があります。特に青少年にとって、下記のようなインターネット上のサイトは、情報入手の容易さや情報に遭遇する機会の増大などによって、青少年の健全な成長を阻害し、犯罪やモラルに反した人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト
- 不必要に個人情報を書き込ませるサイト
- オンライン詐欺サイト
- 自殺や家出に誘うような情報を載せたサイト
- ネットいじめのサイト

上記のサイトが青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開を止めさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開を止めさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信者の側で閲覧の制御を行う技術的手段で、100%万全ではありませんが、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。特に青少年がおられるご家庭では、ご自宅のパソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をご検討されることをおすすめします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、それぞれ、機能、利用条件が異なっています。ソフトウェア提供会社あるいは、お客様が契約されているインターネット事業者に、事前にご確認されることをおすすめします。

【参考資料】

- 一般社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料
  「パソコンサポートとつきあう方法」
  https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/usage/support.html

4 捨てるとき／人に譲るとき

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、ハードディスク／SSDの内容を消去してください。

お願い **指紋認証用に指紋を登録している場合**

＊指紋センサー搭載モデルのみ

- ハードディスク／SSDの内容を消去しても、指紋センサーの指紋データは消去されません。ハードディスク／SSDの内容を消去する前に、指紋データを消去してください。

参照 指紋データを消去する『活用編』

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク／SSD上のデータ消去に関するご注意

パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途で普及しています。これらのパソコンに使われているハードディスク／SSDの記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスク／SSDに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

◆データを「ごみ箱」に捨てる
◆「削除」操作を行う
◆「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
◆ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
◆付属のリカバリーDVD-ROM、または作成したリカバリーメディアを使い、購入時の状態に戻す

などの作業をしますが、これらの作業では、ハードディスク／SSD上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、実際のデータは、まだ残っているのです。
したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク／SSD内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
お客様が、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク／SSD内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスク／SSDに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有料）を利用するか、ハードディスクドライブの場合は金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることをおすすめします。
なお、ハードディスク／SSD上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をする必要があります。

データ消去については、次のホームページも参照してください。
https://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm

1 お客様登録の削除について

パソコンを捨てたり人に譲ったりする前に、ホームページからお客様登録を削除してください。

①インターネットで（https://cocoromembers.jp.sharp）に接続する
②ページ右上の［ログイン］をクリックする
③「COCORO MEMBERS」にて登録したメールアドレスと、パスワードを入力し、［規約に同意してログイン］ボタンをクリックする
④［MYページ］→［ご登録情報の変更］をクリックする
⑤ページ右下の［COCORO MEMBERSを退会する］をクリックする
⑥「COCORO MEMBERS」にて登録したパスワードを入力し、［確認画面へ］をクリックする
以降は、画面の指示に従って操作してください。

※退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、［MY家電管理］タブ→［MY家電リスト］から削除する製品を選択し、［ご登録情報の削除］をクリックしてください。
※「COCORO MEMBERS」を退会されますと、COCORO MEMBERSのすべての内容がご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

参照 技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関して
「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

2 ハードディスク／SSDの内容をすべて消去する

＊この操作は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。
必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、ハードディスク／SSDに保存されているデータやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。
ハードディスク／SSDの内容を削除するには、ハードディスク／SSDの消去機能、作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM（付属しているモデルのみ）を使用します。

お願い パソコンを譲渡する場合には

- ハードディスク／SSDの内容を削除すると、ハードディスク／SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『準備編』

ハードディスク／SSDの消去機能から行う方法

次の操作の途中で、デバイスの暗号化の回復キーの入力を求められることがあります。次の操作を行う前に、デバイスの暗号化の回復キーを確認してください。

参照 回復キーについて『準備編』
（本機能に対応しているモデルにのみ記載があります。）

①データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「電源を切る（21ページ）」

②電源コードとACアダプターを接続する

③電源スイッチを押し、すぐに 0（ゼロ）キー（かな入力の わキー）を数回押す

＊テンキー搭載モデルの場合でも、テンキーの 0（ゼロ）キーからは実行できません。

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して ENTERキーを押してください。

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順④に進んでください。

［オプションの選択］画面が表示された場合は、手順⑤に進んでください。

④「Yes」（「YES」）または「はい」を選択して、ENTERキーを押す

⑤［トラブルシューティング］をクリックする

⑥［dynabook Maintenance Utility］をクリックする

回復キーを入力する画面が表示された場合は、手順⑦に進んでください。

［ツールの選択］画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

⑦回復キーを入力して［続行］をクリックする

［このドライブをスキップする］は選択しないでください。

参照 回復キーについて『準備編』

⑧［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。

［データの消去を開始します。］画面が表示された場合は、手順⑩に進んでください。

⑨［標準データの消去］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

モデルによっては［機密データの消去］項目も表示されますが、通常は［標準データの消去］を選択してください。［機密データの消去］は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

⑩［次へ］ボタンをクリックする

消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑪［終了］ボタンをクリックする

作成したリカバリーメディアや、付属のリカバリーDVD-ROMから行う方法

ここでは、リカバリーメディアを例に説明します。付属のリカバリーDVD-ROMを使用する場合は、リカバリーメディアの場合と同様に操作してください。

お願い

- リカバリーDVD-ROMが付属していないモデルの場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『準備編』

Memo

- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアや、付属のリカバリーDVD-ROM（付属しているモデルのみ）で消去を行う場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

＊ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

- Thunderbolt™（USB Type-C™）コネクタを搭載しているモデルで、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用する場合は、USB Type-Aコネクタへ接続してください。Thunderbolt™（USB Type-C™）コネクタへ接続すると、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブが認識されない場合があります。

①電源コードとACアダプターを接続する

②リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

USBフラッシュメモリの場合はUSBコネクタに差し込んでください。

参照 USBフラッシュメモリやDVD／ブルーレイディスクを本製品にセットする場合『活用編』

参照 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの場合
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属している説明書』

③データを保存し、SHIFTキーを押しながら［シャットダウン］をクリックして電源を切る

参照 電源の切りかた「電源を切る（21ページ）」

④電源スイッチを押し、すぐに F12キーを数回押す

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して ENTERキーを押してください。

⑤↑ または ↓キーで起動ドライブを選択する

- リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は、本製品の光学ドライブ*1を示す項目（［ODD］、［EFI DVD/CDROM］など）、または外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目（［ODD］、［USB ODD］、［EFI USB Device］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

  ＊1 光学ドライブ搭載モデルのみ

- リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合は、USBフラッシュメモリを示す項目（［USB Memory］、［EFI USB Device］など）を選択し、ENTERキーを押してください。

⑥［dynabook Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

以降は、前項の「ハードディスク／SSDの消去機能から行う方法（66ページ）」の手順⑧以降を参照してください。

3 TPMの内容を消去する

＊TPM搭載モデルのみ

TPMを使用している場合、ハードディスク／SSDだけでなく、TPM内部のデータを削除する必要があります。登録情報など、セキュリティに関する重要な情報が含まれるため、必ずデータを削除してください。

4 パソコン本体を廃棄する

参照 パソコン本体の廃棄／リサイクルについて「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

5 バッテリーパックを廃棄する

ご使用のモデル（バッテリーパック搭載モデル／バッテリーパック内蔵モデル）によって、バッテリーパックの廃棄／リサイクル方法が異なります。
ご使用のモデルは、パソコン本体の裏面をご確認ください。
参照 ご使用のモデルの確認「裏面図（15ページ）」

■バッテリーパック搭載モデルの場合

貴重な資源を守るために、不要になったバッテリーパックは廃棄しないで、各自治体の条例または規制に従ってリサイクルするか、充電式電池リサイクル協力店へ持ち込んでください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



【バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先】
一般社団法人 JBRC
TEL：03-6403-5673
ホームページ：http://www.jbrc.com

■バッテリーパック内蔵モデルの場合

本製品の廃棄時に、お客様ご自身でバッテリーパックの取りはずしはしないでください。本製品といっしょに廃棄をお願いします。
参照 廃棄について「サービス＆サポートのご案内（50ページ）」

付録

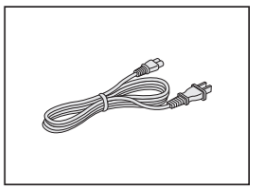
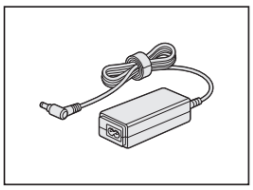
本製品の機能を使用するにあたってのお願い、技術基準適合などについて記載しています。

1 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、下の図のように正しくケーブルを束ねてください。
  電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより形状が異なります。

2 バッテリーの使用／充電について

バッテリーを使用するにあたって

- バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。バッテリーを使いきってしまうと、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。バッテリーを使い切る前に電源コードとACアダプターを接続してバッテリーを充電してください。

バッテリーを充電するにあたって

- バッテリーは5～35℃の温度で充電してください。この温度から外れた場合、一時的に充電を停止したり、正常に充電されないことがあります。
- モデルによっては、バッテリーが高温の状態が続くと、バッテリーの劣化を防止するため、バッテリーの充電量を自動で減らす場合があります。温度が下がると再度充電を行います。

【参考資料】
一般社団法人 電子情報技術産業協会の「ノートパソコンやタブレットのバッテリに関する基礎知識」について
https://home.jeita.or.jp/pc_tablet/news/210730.html

3 パソコン本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- パソコンの表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

タッチパッドの操作にあたって

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが故障するおそれがあります。
- タッチパッドの上に、ものを置いた状態で使用しないでください。

結露について

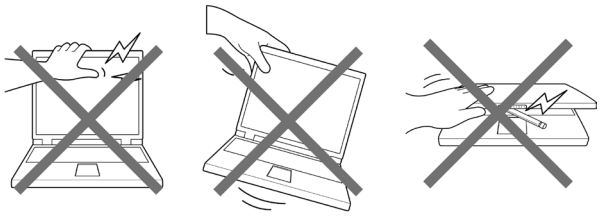
- 結露（空気中の水分が水滴になる現象）しないよう急激な温度変化を与えないでください。寒いところから暖かいところにパソコン本体を移動したときなどは、パソコンの表面や内部に結露が発生しやすくなります。
  結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となりますので、結露がなくなるまで電源を入れないでください。

4 ディスプレイについて

ディスプレイの取り扱いについて

ディスプレイの破損や故障を防ぐために、次のことを守ってください。

- タッチパネル搭載モデルの場合、次のことを守ってください。
  - 画面を強く押さないでください。
  - 画面は指または付属のペン（ペン付属モデルの場合）で操作してください。
  - 先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。
  - 画面に保護フィルムを貼らないでください。タッチ操作が正しく行われないおそれがあります。
- タッチパネル搭載モデル以外の場合、ディスプレイ表面を押さないでください。
- 画面上に物を置かないでください。
- ディスプレイ部分をつかんで持ち上げないでください。
- キーボード上にペンなど、ものをはさんだ状態でディスプレイを閉じないでください。
- ディスプレイを開閉する際は片手でパームレストを押さえゆっくり開閉してください（無理な力を加えないでください）。
- 画面の周りのフレーム部分に保護フィルムやフィルターを貼らないでください。ディスプレイを閉じたときに、破損するおそれがあります。



5 Webカメラについて

Webカメラを使用するにあたって

- Webカメラに保護シートが貼ってある場合には、Webカメラを使用する前に、必ず保護シートをはがしてください。
- Webカメラシャッター搭載モデルの場合、Webカメラを使用する際は、Webカメラシャッターを開けてください。
- Webカメラを太陽に直接向けないでください。
- Webカメラのレンズ部分に触れたり、強く押したりしないでください。画質が低下する原因となります。
  レンズ部分が汚れた場合は、クリーナークロスなどの柔らかい布でふいてください。

6 有線LANについて

LANケーブルの使用にあたって

- LANケーブルは市販のものを使用してください。
- LANケーブルをパソコン本体のLANコネクタに接続した状態で、LANケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。LANコネクタが破損するおそれがあります。
- LANインターフェースを使用するとき、Gigabit Ethernet（1000BASE-T）は、エンハンストカテゴリ5（CAT5e）以上のケーブルを使用してください。
  Fast Ethernet（100BASE-TX）は、カテゴリ5（CAT5）以上のケーブルを使用してください。
  Ethernet（10BASE-T）は、カテゴリ3（CAT3）以上のケーブルが使用できます。

7 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線通信の範囲を最大限有効にするために、次のことを守ってください。
  - 無線LANアクセスポイントとパソコンの間を、金属板などで遮へいしないでください。
  - 無線通信アンテナの周囲に、本や厚い紙の束などの障害物を置かないでください。
  - 無線通信アンテナの周囲を、金属製のケースで覆わないでください。
  - 無線通信アンテナの周囲に、ラベルを貼り付けないでください。
  - 無線LANで通信中は、無線通信アンテナ部分に極力触れないでください。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。

参照『準備編 付録 1 無線LAN／Bluetooth®について』

8 Bluetooth®について

- 本製品は、すべてのBluetooth®対応機器との接続動作を保証するものではありません。

Bluetooth®の対応プロファイル

- Bluetooth®の対応プロファイルは次のとおりです。
  GAP、SPP、AVRCP、DUN、OPP、GAVDP、PAN、HCRP、HID、A2DP、HFP、GATT、HOGP、ScPP

＊プロファイル適合デバイスすべての接続を保証するものではありません。

9 周辺機器について

パソコン本体への機器の取り付け／取りはずしについて

- 本製品のインターフェースに合った周辺機器をご利用ください。
  周辺機器によっては、インターフェースなどの規格が異なることがあります。インターフェースとは、機器を接続するときのケーブルの規格や、コネクタ／端子の形状などのことです。購入される際には、目的に合った機能を持ち、本製品に対応している周辺機器をお選びください。周辺機器が本製品に対応しているかどうかについては、その周辺機器のメーカーに確認してください。
- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。

参照 周辺機器の取り付け／取りはずし『活用編』

またその際には、次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。

- ホットインサーションに対応していない機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサーションとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
- 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
- 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
- 本書および各種説明書で説明している場所のネジ以外は、ゆるめたり、取りはずしたりしないでください。
- 作業時に使用するドライバーは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

10 テレビ／外部ディスプレイ接続の操作にあたって

＊表示装置は「本体ディスプレイ、テレビまたは外部ディスプレイ」を示します。

- すべてのテレビまたは外部ディスプレイへの表示を保証するものではありません。テレビまたは外部ディスプレイによっては正しく表示されない場合があります。
- 複製表示（2つの表示装置に、同じ映像を表示すること）にしているときに映像を再生させると、映像が乱れたり、画面がチラついたりすることがあります。この場合は、複製表示にしないで1つの表示装置のみに表示するか、拡張表示にしてください。複製表示のまま表示解像度を下げて解消できる場合もあります。
- 拡張表示（2つの表示装置を、1つの画面として表示すること）にしているときにスリープまたは休止状態に移行した場合は、テレビまたは外部ディスプレイをはずさないでください。スリープまたは休止状態から復帰したときにサインイン画面が表示されずに、操作ができなくなることがあります。
- テレビまたは外部ディスプレイの省電力機能が働くと、起動の際やテレビまたは外部ディスプレイをケーブルで接続した際、正しく表示されない場合があります。
  この場合は、テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れ直してから（省電力機能を解除してから）本製品の電源を入れるか、ケーブルを接続してください。
- 2つ以上のテレビまたは外部ディスプレイを接続しているときに、画面表示を切り替えたりテレビまたは外部ディスプレイケーブルを抜き差しすると、システムによって自動的に画面表示が切り替わることがあります。
- 外部サウンド機器が接続されている場合、テレビまたは外部ディスプレイを含む別の外部サウンド機器を抜き差しすると、システムによって自動的に音声の出力が切り替わることがあります。
- テレビまたは外部ディスプレイに表示したときに、画面の周りに黒い帯が表示され、画面がテレビまたは外部ディスプレイの中央に小さく表示されることがあります。
  その場合は『テレビに付属している説明書』または『外部ディスプレイに付属している説明書』を参照して、テレビまたは外部ディスプレイがサポートしている画面モードに設定してください。適切なサイズと適切なアスペクト比（縦横の比率）で表示されます。
- アプリケーションによっては、起動中に表示装置を切り替えられない場合があります。この場合は、映像を再生するアプリケーションを起動する前に、表示装置の切り替えを行ってください。
- 同時に接続できる表示装置の数には制限があります。

ヘッドセットやヘッドホンの操作にあたって

- 次のような場合にはヘッドセットやヘッドホンを装着しないでください。雑音が発生する場合があります。
  - パソコン本体の電源を入れる／切るとき
  - ヘッドセットやヘッドホンの取り付け／取りはずしをするとき

ワイヤレスディスプレイ機能の使用にあたって

- すべてのテレビまたは外部ディスプレイとの接続を確認したものではありません。
  詳しくはdynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口へお問い合わせください。
- 周囲の電波状況によっては、テレビまたは外部ディスプレイとの接続に失敗したり、途中で接続が切れたりすることがあります。また、テレビまたは外部ディスプレイの映像が乱れることがあります。
- テレビまたは外部ディスプレイと正常に接続できない場合は、本製品とテレビまたは外部ディスプレイ双方を再起動してください。
- 本製品は、スリープ中でもテレビまたは外部ディスプレイとの接続が解除されません。バッテリーの消耗を防ぐため、本機能を使用しないときはテレビまたは外部ディスプレイとの接続を切断してください。

USB対応機器の操作にあたって

- 電源供給を必要とするUSB対応機器を接続する場合は、USB対応機器の電源を入れてからパソコン本体に接続してください。
- USB対応機器を使用するには、システム（OS）が対応しており、機器用ドライバーがインストールされている必要があります。
- すべてのUSB対応機器の動作を保証するものではありません。
- USB対応機器を接続したままスリープまたは休止状態にすると、復帰後USB対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB対応機器を接続し直すか、パソコンを再起動してください。

■USB Type-A接続の外部ディスプレイを使用するにあたって

- USB Type-A接続の外部ディスプレイを接続した場合、著作権保護機能に対応していないドライバーがインストールされることにより、一部の映像を再生するアプリケーションが動作しなくなることがあります。
  これらのアプリケーションを使用される場合は、USB Type-A接続の外部ディスプレイの接続やドライバーのインストールを行わないようにお願いします。

■取りはずす前に確認しよう

- 取りはずすときは、USB対応機器をアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してください。
- USBフラッシュメモリやUSB接続のハードディスク／SSDなど、記憶装置のUSB対応機器を取りはずす場合は、データを消失するおそれがあるため、必ずシステム上で使用停止の手順を行ってください。

■パワーオフアンドチャージ機能について

- パワーオフアンドチャージ機能を有効にした際、ϟアイコンが付いているUSB Type-Aコネクタに接続しているUSB周辺機器が正しく動作しない場合があります。この場合、ほかのUSBコネクタを使用するか、本機能を無効にしてください。
- 本機能を利用しての充電は、専用充電器で充電する場合と比較して、より多くの充電時間が必要になることがあります。
- 本機能を有効にしている場合は、電源OFFの状態でもバッテリーが消費されます。
  バッテリー駆動時間や休止状態の保持時間が短くなるので、電源コードとACアダプターを接続して使用することをおすすめします。

- USB対応機器の給電中にパソコン本体の電源を入れると、USB対応機器が正常に認識されない場合があります。この場合は、一度USB対応機器を取りはずしてから再接続してください。
- USB対応機器の給電中にパソコン本体の電源を切ると、正常に充電できない場合があります。この場合は、一度USB対応機器を取りはずしてから再接続してください。
- パソコン本体の電源ON／OFFと連動するUSBバスパワー（DC5V）連動機能を持つ外部機器は、常に動作状態になることがあります。
- 本機能に対応したUSBコネクタに接続された外部機器の使用電流が過大の場合、安全性確保のためUSBバスパワー（DC5V）の供給を停止させることがあります。
  この場合、外部機器の仕様を確認し、本機能に対応したUSBコネクタに接続する外部機器の使用電流全体の合計を2.1A以下にしてください。
  その後、パソコン本体の電源をON／OFFすることで復帰します。
- パワーオフアンドチャージ機能を有効にした場合は、⚡アイコンが付いているUSB Type-Aコネクタでは「USB WakeUp機能」*1が機能しない場合があります。
  この場合、ほかのUSBコネクタを使用するか、本機能を無効にしてください。

＊1　USB WakeUp機能とは、USBコネクタに接続した外部機器によってパソコン本体をスリープ状態から復帰させる機能です。本機能は、すべてのUSBコネクタで有効です。

■USBの高速充電について

●電源OFF時の高速充電について

- ［自動モード］で正しく充電できない場合は、本機能を［代替モード］に変更するか、無効にしてください。
- 接続するUSB対応機器およびUSBケーブルが2.0A充電に対応していない場合は、［自動モード］には設定しないでください。
  この場合は、［代替モード］に設定してください。

●システムON CDPチャージモードについて

- ⚡アイコンが付いているUSB Type-Aコネクタに接続しているUSB周辺機器が正常に認識されない場合があります。この場合、ほかのUSBコネクタを使用するか、本機能を無効に設定してください。
- 本機能で高速充電している場合は、バッテリー駆動時間が短くなるので、電源コードとACアダプターを接続して使用することをおすすめします。
- バッテリー残量が10%以下では、システムON CDPチャージモードは機能しません。この場合は、通常の給電となります。
  本機能を使用する場合は、バッテリーを充電してからパソコンを起動してください。使用中にバッテリー残量が10%以下になった場合に、再び本機能を使用するには、バッテリーを充電後、パソコンの再起動が必要になります。
- ⚡アイコンが付いているType-Aコネクタでは「USB WakeUp機能」*1が機能しない場合があります。
  この場合、ほかのUSBコネクタを使用するか、本機能を無効にしてください。

＊1　USB WakeUp機能とは、USBコネクタに接続した外部機器によってパソコン本体をスリープ状態から復帰させる機能です。本機能は、すべてのUSBコネクタで有効です。

Thunderbolt™対応機器の操作にあたって

- すべてのThunderbolt™対応機器の動作を保証するものではありません。

11 ハードディスク／SSDについて

操作にあたって

- パソコンを激しく揺らしたり、強い衝撃を与えると、故障の原因となる場合があります。
- ハードディスク／SSDへのアクセス中は、パソコン本体を動かしたりしないでください。ハードディスク／SSDが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスク／SSDに保存しているデータや重要な文書などは、万が一故障が起こったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にCD／DVD／ブルーレイディスクやUSBフラッシュメモリなどに保存しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク／SSD、CD／DVD／ブルーレイディスク、USBフラッシュメモリなどに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 磁石、スピーカー、テレビ、磁気ブレスレットなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

12 指紋認証／顔認証について

指紋認証の操作にあたって

指紋センサーは非常に高度な技術で作られておりますので、次の取扱注意事項を守ってご使用ください。特に指紋センサー表面の取り扱いには十分ご注意ください。

- 次のような取り扱いをすると故障したり、指紋が認証されない原因になります。
  - 指紋センサー表面をつめなどの硬いものでこすったりひっかいたりする
  - 指紋センサー表面を強く押す
  - ぬれた手で指紋センサー表面を触る
    指紋センサーの表面に水蒸気などをあてず、乾燥した状態に保ってください。
  - 化粧品や薬品、砂や泥などの付いた手で指紋センサー表面を触る
    砂などの小さい物でも、指紋センサーを傷つける場合があります。
  - 指紋センサー表面にシールなどをはる
  - 指紋センサー表面に鉛筆やボールペンなどで書く
  - 指紋センサー表面を静電気を帯びた手や布などで触る
- 指紋センサーをご使用になるときには、次の点にご注意ください。
  - 手が汚れている場合には手を洗い、完全に水分をふき取る
  - 金属に手を触れるなどして、静電気を取り除く
    特に空気が乾燥する冬場には注意してください。静電気は指紋センサーの故障原因になります。
  - クリーナークロスなどの柔らかい布でセンサーの汚れをふき取る
    このとき、洗剤は使用しないでください。
  - 指と指紋センサーが横から見て平行になるように指を置く
- 指紋を登録する場合には、認識率向上のために次のような状態の指は避けてください。
  - ぬれている
  - けがをしている
  - ふやけている
  - 荒れている
  - 汚れている
    指紋の間の汚れや異物を取り除いた状態で登録してください。
  - 乾燥性の皮膚炎などにかかっている
- 認識率が下がったな、と思ったら次の点を確認してください。
  - 指紋センサーの表面が汚れていないか確認する
    汚れている場合は、クリーナークロスなどの柔らかい布で軽くふき取ってから使ってください。指紋センサー表面は強くこすらないでください。故障するおそれがあります。
  - 指の状態を確認する
    傷や手荒れ、極端に乾燥した状態、ふやけた状態、指紋が磨耗した状態、極端に太った場合など、指紋の登録時と状態が異なると認識できない可能性があります。認識率が改善されない場合には、ほかの指での再登録をおすすめします。
  - 指の置きかたに注意する

- その他
  - 2本以上の指を登録することをおすすめします。うまく認識しにくい場合などは、登録しなおすか、ほかの指を登録してください。
  - 指紋認証機能は、正しくお使いいただいた場合でも、個人差により指紋情報が少ないなどの理由で、登録・使用ができない場合があります。
  - 指紋認証機能は、データやハードウェアの完全な保護を保証してはおりません。本機能を利用したことによる、いかなる障害、損害に関して、いっさいの責任は負いかねますので、ご了承ください。

Windowsパスワードの設定について

- 指紋認証または顔認証を使用するには、あらかじめWindowsパスワードとPINの設定が必要です。Windowsパスワードと PINの設定は、「サインイン オプション」で行います。

参照 Microsoft アカウントのパスワードやPIN、またはWindowsパスワード『活用編』

- Windowsパスワードがわからなくなった場合は、dynabook あんしんサポート使いかた相談窓口に連絡してください。

指紋認証または顔認証のパスワード入力について

- 指紋認証または顔認証に関連するシステム環境や設定が変更された場合、起動時にパスワードの入力を求められることがあります。その場合は、キーボードから各パスワードを入力してください。

13 顔認証センサーについて

顔認証機能を使用するにあたって

- 顔認証センサーを使用する際は、Webカメラシャッターを開けてください(Webカメラシャッター搭載モデルのみ)。
- 顔認証センサーに保護シートが貼ってある場合には、顔認証機能を使用する前に、必ず保護シートをはがしてください。
- 顔認証センサーを太陽に直接向けないでください。
- 顔認証センサーのレンズ部分に触れたり、強く押したりしないでください。認証に失敗しやすくなる原因となります。レンズ部分が汚れた場合は、クリーナークロスなどの柔らかい布でふいてください。
- 顔認証をするときは、顔認証センサーの正面に顔を向けてください。
- 顔認証のセットアップ時に、他者の顔がプレビュー画面に写り込まないようにしてください。
- 顔認証機能は室内での使用をおすすめします。室外では太陽光の影響により顔認証の登録や、顔認証によるWindowsのサインインなどに失敗することがあります。

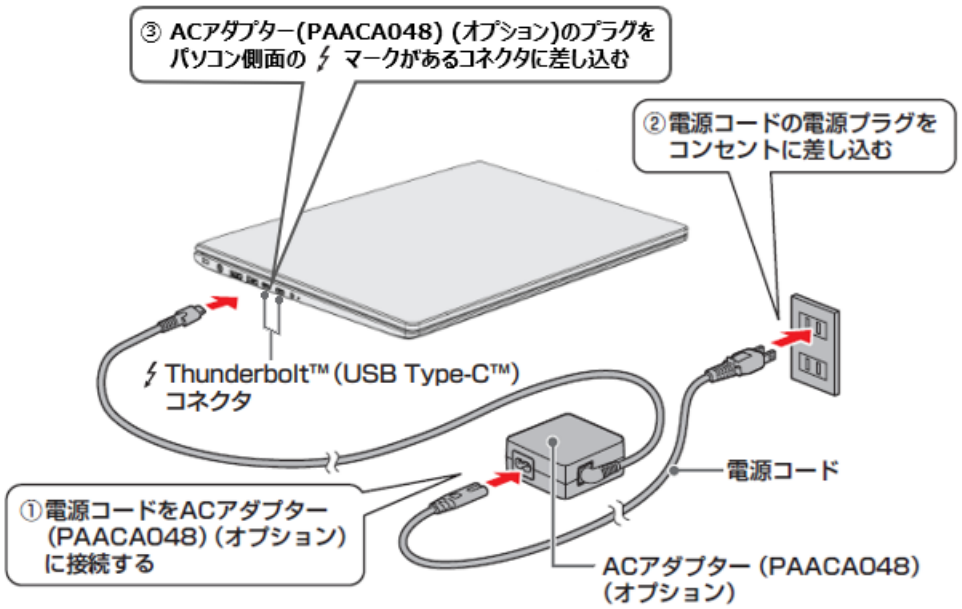
14 TPMについて

TPMの操作にあたって

- 本製品を修理・保守に出した場合、本製品内のデータは保証いたしません。TPMを使用している場合に、本製品を保守・修理に出す際は、バックアップをとっておいてください。バックアップをとった記録メディアは、安全な場所に保管してください。データのバックアップに関しては、当社はいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を修理・保守に出した場合、搭載されているTPMに障害がなくてもメイン基板が交換される場合があります。
- TPMでは、最新のセキュリティ機能を提供しますが、データやハードウェアの完全な保護を保証してはおりません。本機能を利用したことによる、いかなる障害、損害に関して、いっさいの責任は負いかねますので、ご了承ください。
- 管理者権限を持たないユーザーがBIOSセットアップのTPMに関する項目を操作できないように設定することをおすすめします。

15 ACアダプター（PAACA048）（オプション）を使用する場合の接続手順

下の図の①→②→③の順で行ってください。



Memo

- ACアダプターとACアダプター（PAACA048）（オプション）を両方接続しても、充電できるのはどちらか一方です。

2 記録メディアについて

記録メディアを使う前に、次の内容をよく読んでください。

1 microSDメモリカードを使うにあたって

1 microSDメモリカードの操作にあたって

- microSDメモリカードにアクセス中は、電源を切ったり、microSDメモリカードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやmicroSDメモリカードが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しくセットされていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、microSDメモリカードが壊れるおそれがあります。
- スリープ中は、microSDメモリカードを取り出さないでください。データが消失するおそれがあります。
- microSDメモリカードのコネクタ部分（金色の部分）には触れないでください。静電気で壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り出す場合は、必ずシステム上で使用停止の手順を行ってください。データが消失したり、microSDメモリカードが壊れるおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、必ずSDカードスロットからmicroSDメモリカードを取り出してください。SDカードスロットやmicroSDメモリカードが破損するおそれがあります。

2 microSDメモリカードのフォーマットについて

- 再フォーマットする場合は、microSDメモリカードを使用する機器（デジタルカメラやオーディオプレーヤーなど）で行ってください。
  Windows上（エクスプローラー）でmicroSDメモリカードのフォーマットを行わないでください。デジタルカメラやオーディオプレーヤーなどほかの機器で使用できなくなる場合があります。
- 再フォーマットを行うと、そのmicroSDメモリカードに保存されていた情報はすべて消去されます。一度使用したmicroSDメモリカードを再フォーマットする場合は注意してください。

3 microSDメモリカードを使う前に

- すべてのmicroSDメモリカードの動作を保証するものではありません。
- microSDメモリカードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。
  そのため、ほかのパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。SDMIとはSecure Digital Music Initiativeの略で、デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体のことです。
- あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- microSDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMIに準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、使用できるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

4 使用できる各メディアの容量

SDカードスロットで使用できる各メディアの最大容量は次のとおりです。

メモリカード	最大容量
microSDメモリカード	2GB
microSDHCメモリカード	32GB
microSDXCメモリカード	2TB

2 記録メディアの廃棄・譲渡について

記録メディア（microSDメモリカード、USBフラッシュメモリなど）を廃棄・譲渡する際には、書き込まれたデータが流出しないよう、適切な方法で消去することをおすすめします。
初期化、削除、消去などの操作などを行っても、データの復元ツールで再生できる場合もありますので、十分ご確認ください。
データ消去のための専用ソフトや、記録メディア専用のシュレッダーも販売されています。

3 技術基準適合について

瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

リカバリーチェックシート

パソコンの回復やリカバリーを行う際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照 各項目の詳細「2章 パソコンを再セットアップするには（35ページ）」

■リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
☑	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
☑	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
☑	『準備編』を参照して、ほかのトラブル解消方法を探す
☑	「システムの復元」を実行して、パソコンを以前の状態に復元する

■リカバリーする前にすること

チェック欄	説明	
☑	①準備するもの	リカバリーの手順と本チェックシートを印刷したもの
☑		リカバリーメディア（＊メディアからリカバリーする場合のみ） リカバリーDVD-ROM（＊付属しているモデルのみ）
☑	②必要なデータのバックアップをとる ● ［ドキュメント］、［ピクチャ］、デスクトップ上などのデータ ● インターネットの［お気に入り］のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）	
☑	③指紋データをすべて削除する（＊指紋センサー搭載モデルのみ）	
☑	④アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア	
☑	⑤各種設定を確認する	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定など
☑		インターネットの設定、Microsoft アカウントとパスワード
☑	⑥無線通信機能がONであるかを確認する	

■リカバリーの実行と、その後にすること

チェック欄	説明
☑	①リカバリーを行う（＊リカバリー後はWindowsセットアップが必要）
☑	②ウイルスチェック／セキュリティ対策を行う
☑	③ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルを更新する （＊ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトをインストール時のみ） Windows Updateを行う
☑	④周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
☑	⑤メールを設定する
☑	⑥アプリケーションのインストールや設定を行う
☑	⑦バックアップをとったデータを復元する